

環境アセスメントデータベース

環境アセスメントデータベース EADAS

操作ガイド

第 13 版
令和 7 年 6 月

目次

システムの利用環境について	1
マップとレイヤについて	1
地図の投影法について	2
地図の操作方法	3
地図の基本操作	3
背景図を選択する	6
表示する情報項目を選ぶ	9
表示する情報項目を検索する	12
地図に情報項目を重ねて表示する	14
表示している情報項目の重ね順を変更する	16
地図に追加した情報項目を削除する	19
地図に追加した情報項目を非表示にする	21
ブックマークを使う	22
ブックマークから情報項目を追加削除する	24
表示する情報項目の原典を調べる	25
パネルの表示状態を変える	26
透過率を変更する	28
計測をする	29
メモを作成する	31
メモを編集する	35
バッファを作成する／削除する	37
地名等を検索する	39
緯度経度を指定して地図を表示する	41
情報を表示する ポップアップ	42

環境アセスメントデータベース

情報を表示する 空間条件検索	44
情報を表示する 空間条件検索（バッファ検索）	45
情報を表示する 条件検索	47
情報を表示する 行政区単位検索	48
印刷をする	49
URL で地図を共有する	53
卷末資料	55
システムが起動しない。画面構成が崩れる。	55
地図の表示が遅い。	55
地図の表示部が白くなる。表示がおかしい部分がある。	55
機能を検索したい。使用方法が不明な機能がある。	55
Q&A（よくある質問）	56

システムの利用環境について

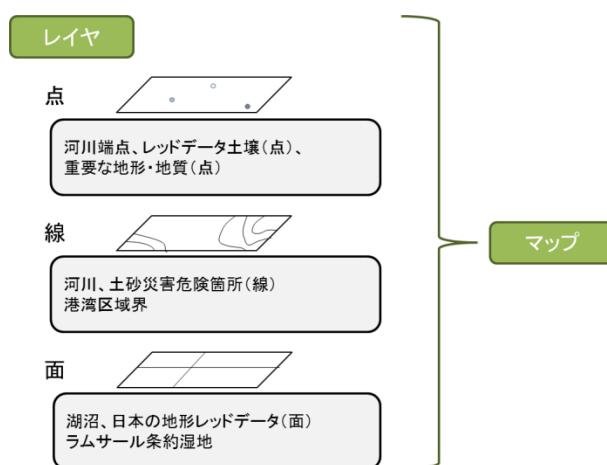
環境アセスメントデータベース（EADAS）を利用する際には、下記ブラウザの最新版をご利用ください。これ以外のブラウザでは、システムが動作しないか一部の機能が制限されることがあります。

- Microsoft Edge
- Mozilla Firefox
- Google Chrome
- Apple Safari

マップとレイヤについて

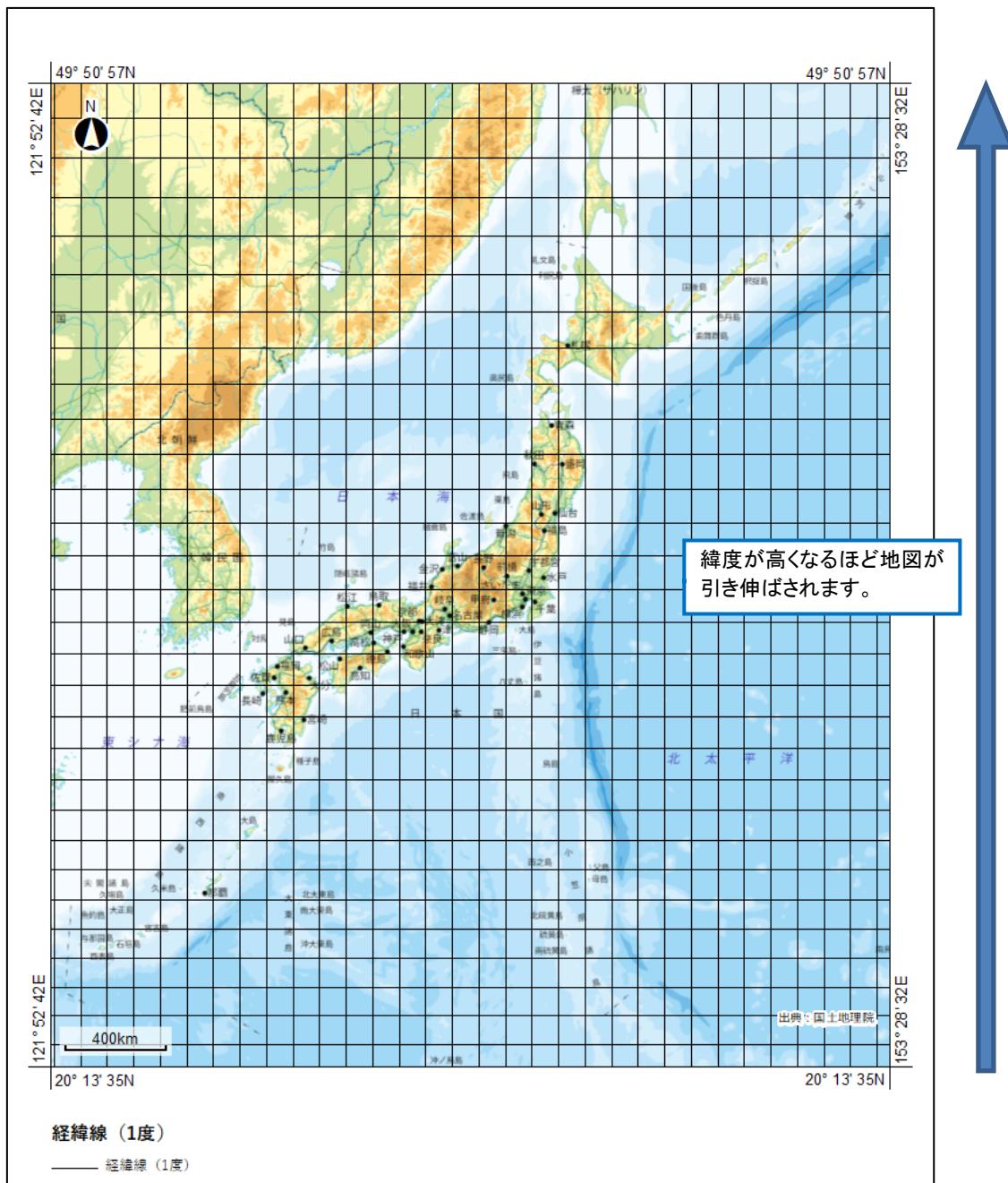
環境アセスメントデータベース（EADAS）は GIS を使用したシステムです。GIS とは、標準地図や電子国土基本図といった背景の上にレイヤを重ね合わせて表示し、レイヤ個々に登録されている情報を引き出すことができるシステムです。

レイヤには大きく分けて点、線、面の3つの情報があります。これらを束ねたものをここではマップと呼びます。点情報として登録されているレイヤの例としては河川端点、レッドデータ土壤（点）などがあります。線情報として登録されているレイヤの例としては河川、港湾区域界などがあります。面情報として登録されているレイヤの例としては湖沼、日本の地形レッドデータ（面）などがあります。



地図の投影法について

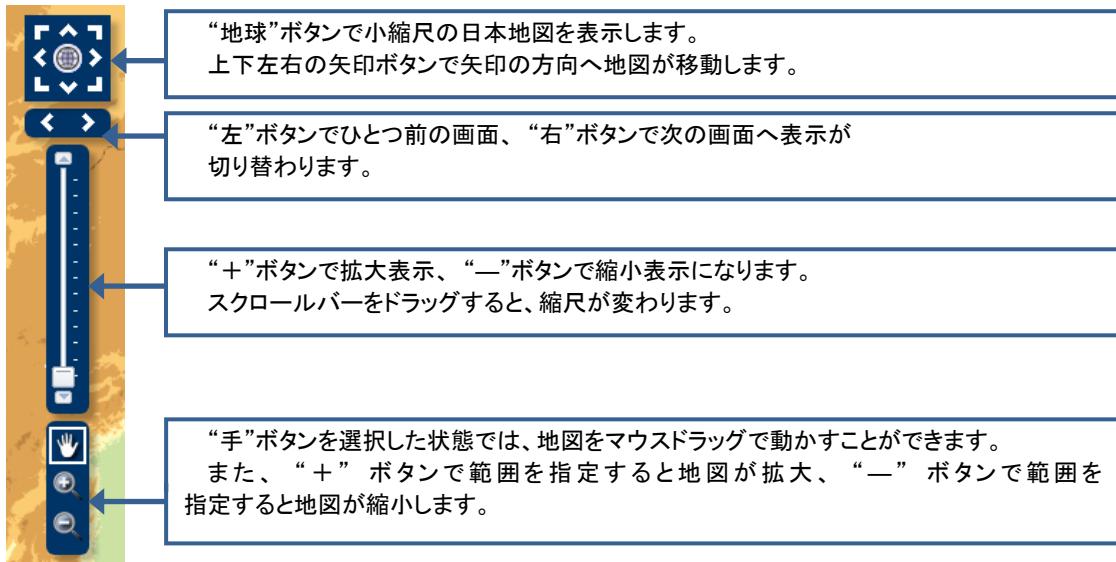
環境アセスメントデータベース（EADAS）では地図の投影法として Web メルカトル図法を使用しています。Web メルカトル図法は地球の球面を平面上に表現するための投影法の一つで、赤道を基準に緯度が高くなるほど地図が引き伸ばされる特徴があります。



地図の操作方法

地図の基本操作

操作パネルでは、地図の拡大・縮小・移動、前後の画面への切替を行います。



メモ

その他にも、マウスのドラッグ(クリックしたまま移動)で地図が移動します。
マウスのホイールを回すと地図が拡大、縮小します。

※マウスの割り当てを変更(カスタマイズ)されている場合は、地図の移動、
拡大、縮小が行われない場合があります。

環境アセスメントデータベース

メニューバーでは、情報選択、背景選択、凡例、地名等検索、情報抽出、計測、作図メモ、印刷出力、URL 出力を行います。



情報選択:

地図上に表示する情報項目を一覧から選択することができます。

背景選択:

背景地図(標準地図、電子国土基本図、色別標高図など)を選択することができます。

凡例:

地図上に表示した情報項目の凡例を表示します。

地名等検索:

入力された文字列から位置検索を行い該当位置に移動できます。

情報抽出:

レイヤに対し、属性条件を入力して検索し、合致したデータを一覧表示することができます。

また、図形と重なる範囲内に、レイヤの属性を検索することができます。

計測:

点、線、長方形、円、多角形での計測(座標表示、距離計測、面積計測)ができます。

作図メモ:

一時的に画面に任意の図形(点、線、長方形、円、多角形、文字列)を描画できます。

印刷出力:

印刷プレビュー、印刷(PDF、PNG、JPEG)することができます。

URL 出力:

URL で現在表示している地図を共有することができます。

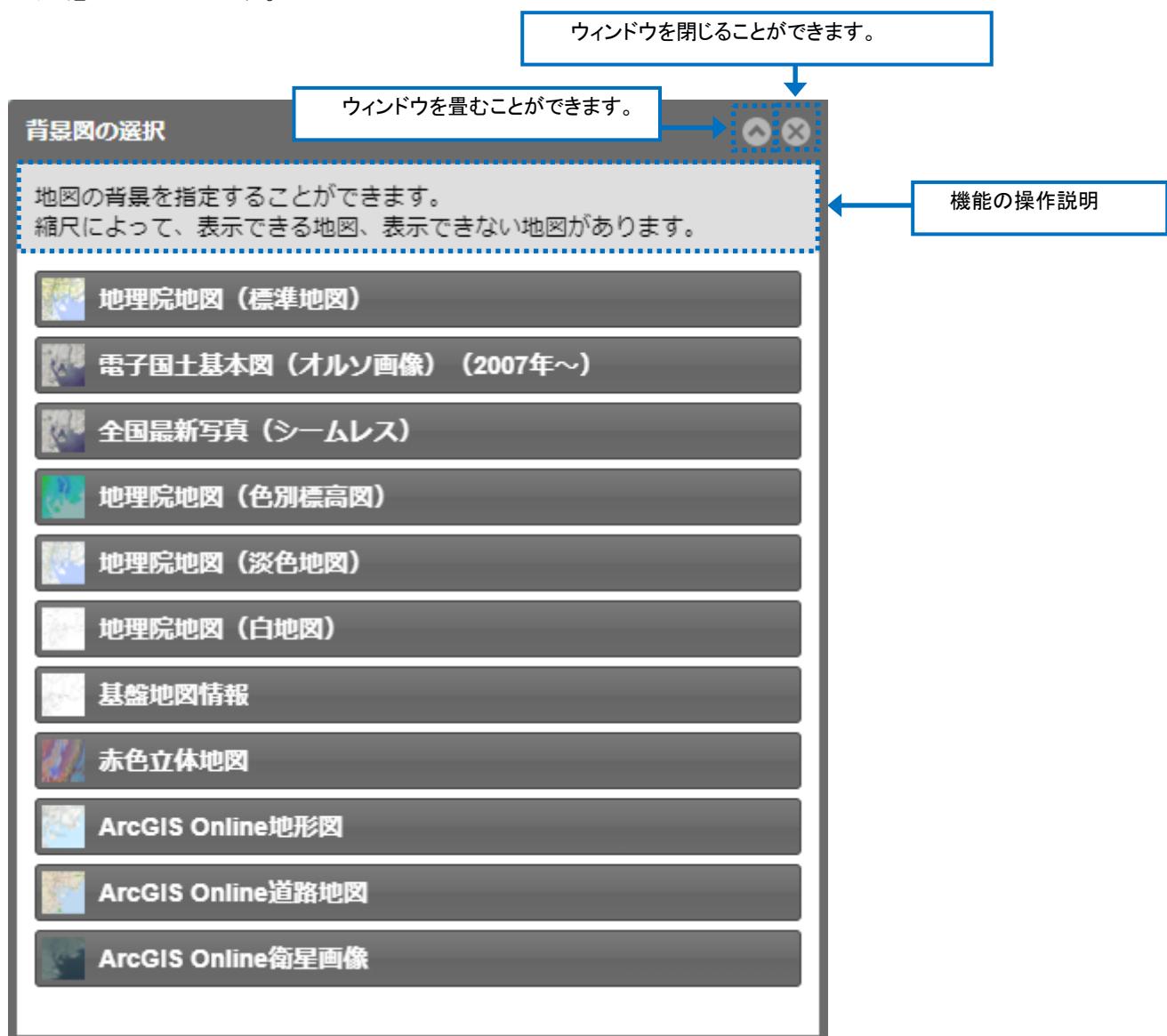
メモ

メニューバーの各ボタンは、トグルボタンになっています。

クリックする度に、パネルの表示・非表示が切り替わります。

メモ

メニューをクリックすると、各機能のウィンドウが表示されます。各ウィンドウの上部には、機能の説明、ツールバーには、ウィンドウを閉じることのできるアイコン、ウィンドウを畳むことのできるアイコンがウィンドウ共通の機能として用意されています。



また、ウィンドウは、マウスでドラッグし、任意の位置に移動することができます。

背景図を選択する

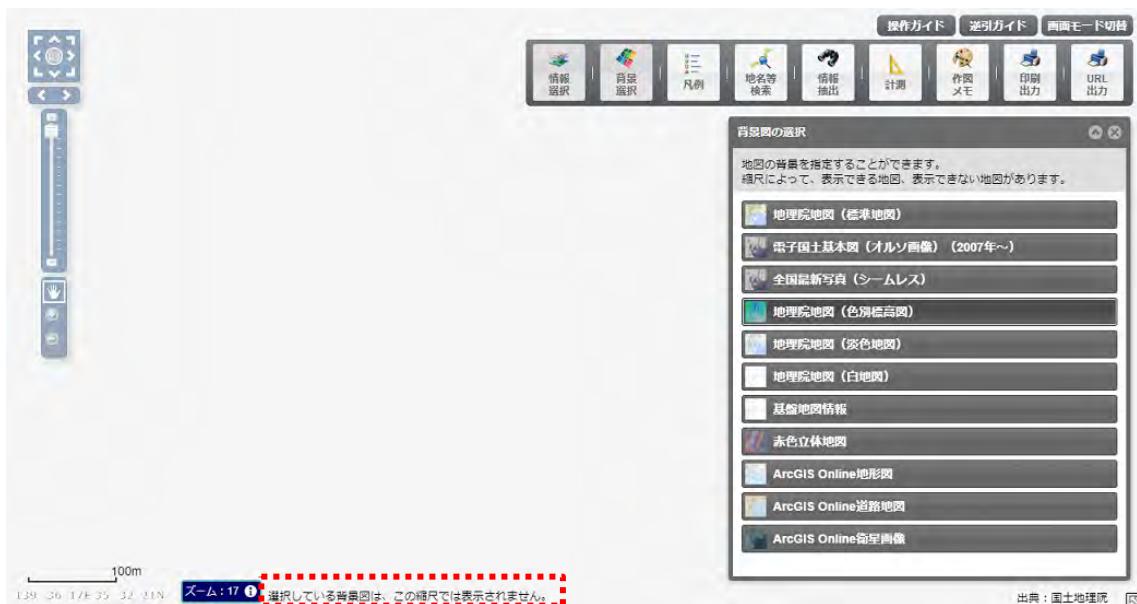
メニューバーの「背景選択」をクリックします。

「背景図の選択」パネルが表示されますので、表示したい背景図をクリックします。

背景図の表示がクリックした背景に変わったら、「背景図の選択」パネル右上にある×ボタンをクリックしてパネルを閉じます。



背景図に縮尺制限がかかっている場合、画面下に「選択している背景図は、この縮尺では表示されません。」と表示されます。



環境アセスメントデータベース

スケールバーの横に地図のズームレベルが表示されます。



ズームレベル横のアイコン（）をクリックすることにより、国土地理院のWebサイトに掲載されているズームレベルの説明ページが新規タブに表示されます。

地理院タイルでは地図の表示画面を「ズームレベル」という概念を使って区別します。
前述の地図投影法で投影した地理地図全体を一枚の正方形タイルで表現したものと「ズームレベル0」と定義します。さらに、一枚の正方形タイルの辺の長さを2倍にして縦横それぞれ2分の1に分割したものを「ズームレベル1」とします。つまり、「ズームレベル1」では、一枚1枚のタイルの大きさはズームレベル0の場合と同一ですが、 $2 \times 2 = 4$ 枚のタイルで地理地図全体を表現します。同様にしてズームレベルが1つ大きいものは、各タイルの辺の長さを2倍にして $2 \times 2 = 4$ 枚のタイルに等分割したものと定義します。

また、各タイルにはX, Yからなるタイル座標を表します。
西経180度、北緯約85.0511度の北西端を左上の端点に一つタイルを(0,0)として東方向をX正方向、南方向をY正方向にとります。ズームレベルによって地理地図全体のタイル数は異なるため、タイル座標の範囲もズームレベルにより異なりますが、タイル一枚の大きさは、256ピクセル×256ピクセルで統一しています。

以下の図は、ズームレベル0～2の各タイルの範囲とタイル座標を示しています。
ズームレベル3以上のタイル座標については、[タイル座標確認ページ](#)をご覧ください。タイル座標確認ページでは、タイル座標を[タイルのURLの名規則](#)と同様、 $\{z\}/\{x\}/\{y\}$ の形式で表示しています。

図5：ズームレベルとタイル座標

メモ

背景図は、下記より選択できます。

- 地理院地図（標準地図）
- 電子国土基本図（オルソ画像）（2007年～）
- 全国最新写真（シームレス）
- 地理院地図（色別標高図）
- 地理院地図（淡色地図）
- 地理院地図（白地図）
- 基盤地図情報
- 赤色立体地図
- ArcGIS Online 地形図
- ArcGIS Online 道路地図
- ArcGIS Online 衛星画像

表示する情報項目を選ぶ

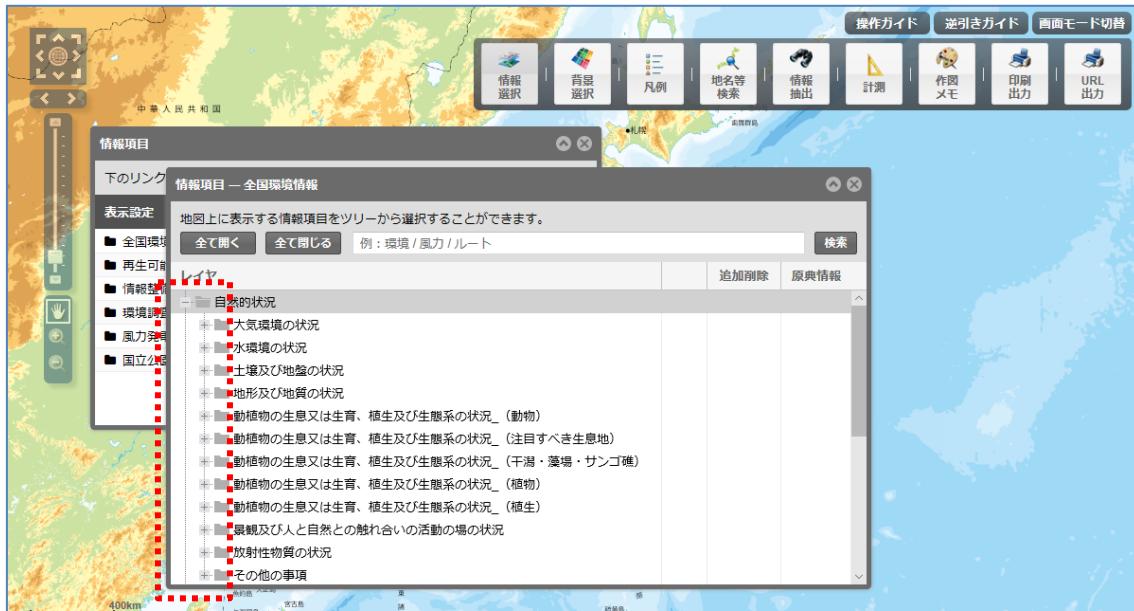
地図を起動したとき、「情報項目」パネルが表示されています。パネルが表示されていない場合は、メニューバーから「情報選択」をクリックします。



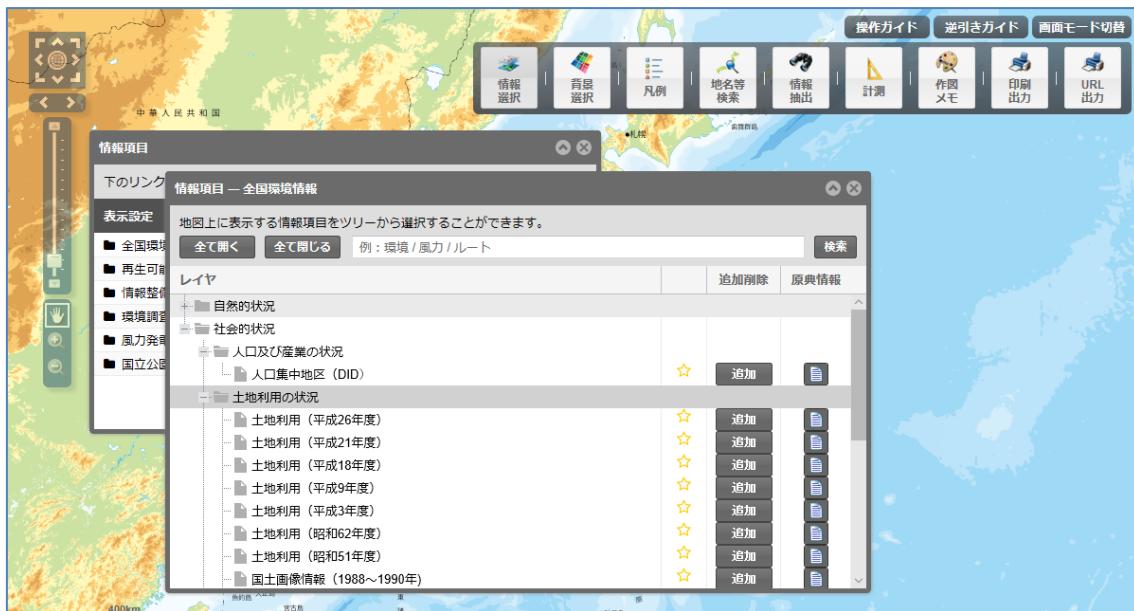
「情報項目」パネルの「表示設定」から表示する情報項目をクリックすると、その情報項目に含まれる下位の情報項目が階層構造で別のパネルに表示されます。

環境アセスメントデータベース

全国環境情報をクリックした場合は、「全国環境情報」パネルが表示されます。

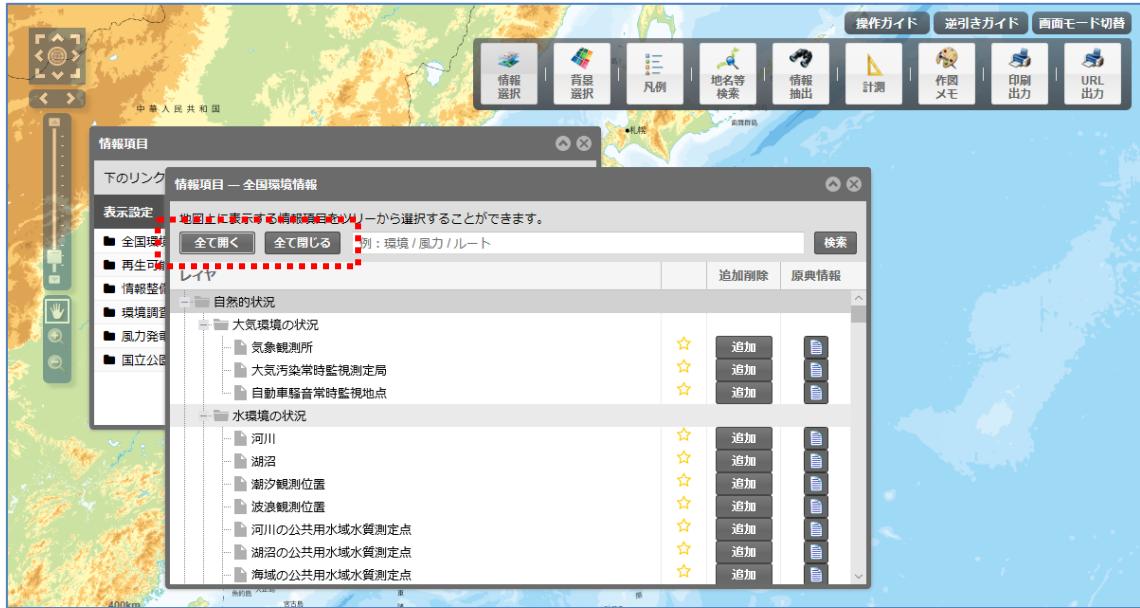


情報項目は、階層構造で表示されますので、「+」部分をクリックして下位の階層を表示します。



環境アセスメントデータベース

情報項目は「全て開く」ボタンで階層を全て開き、「全て閉じる」ボタンで階層を全て閉じることができます。



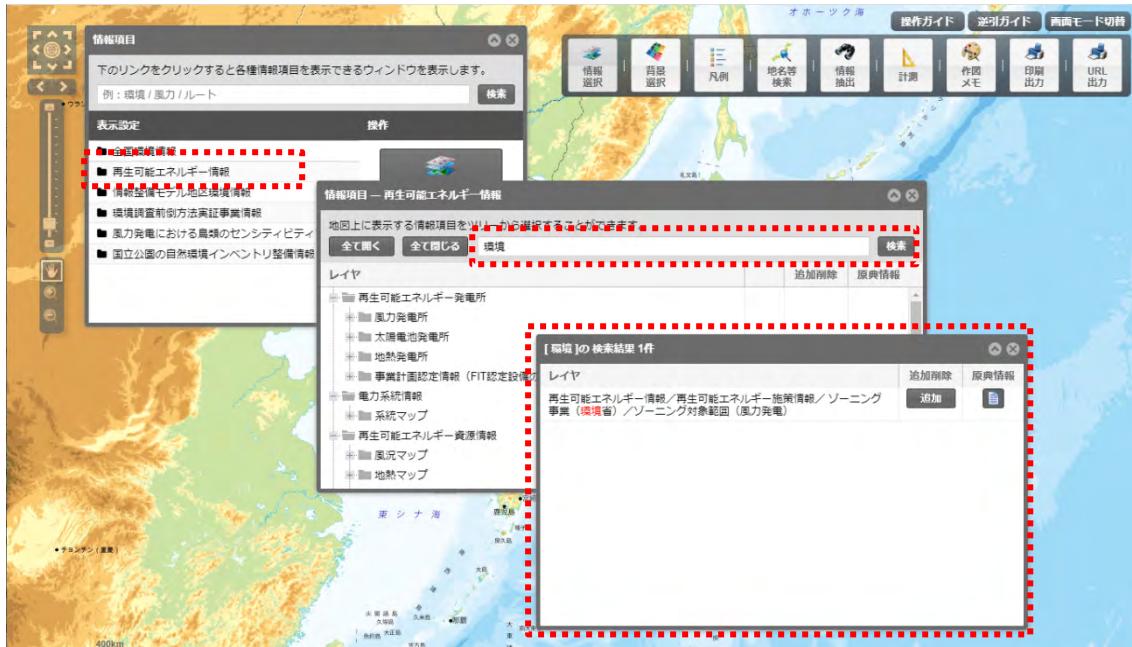
表示する情報項目を検索する

「情報項目」パネルでは任意の文字列で情報項目を検索することができます。検索文字列をスペース区切りで入力した場合、AND 条件での検索を行います。検索条件に合致した文字列は、検索結果に赤字で表示されます。



環境アセスメントデータベース

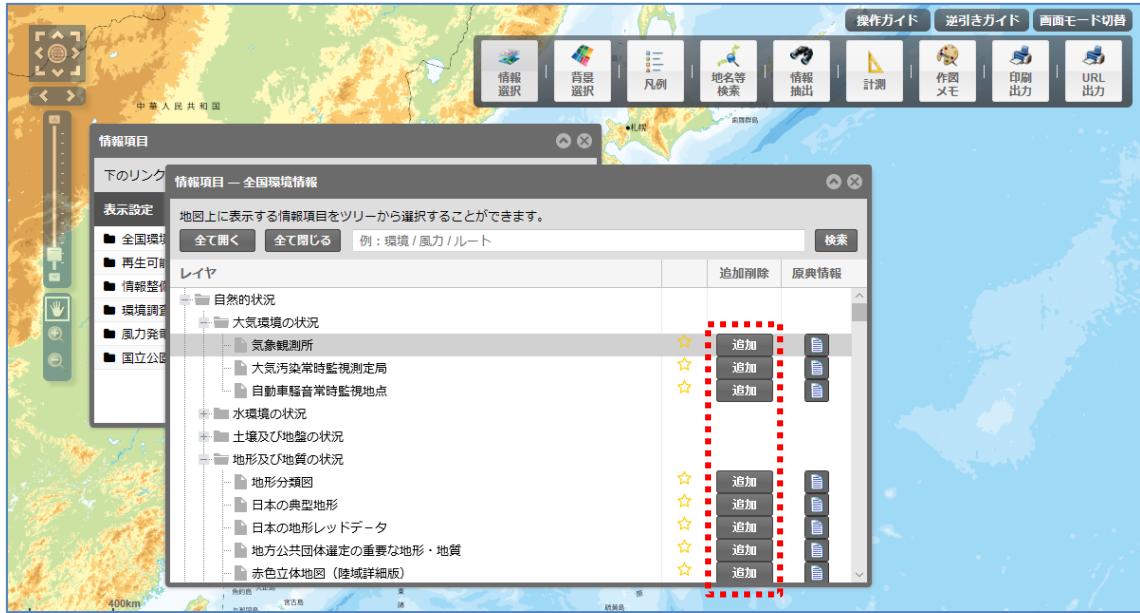
「情報項目」パネルより情報項目を選択後、表示されるパネル上で検索を実行することにより、情報項目を絞った検索ができます。



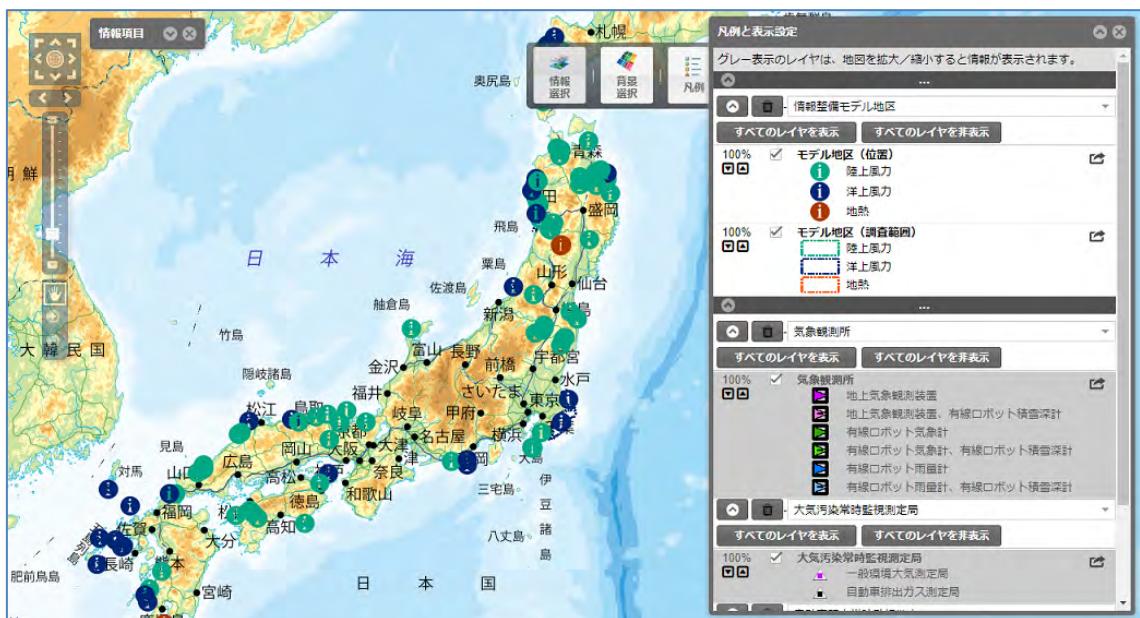
再生可能エネルギーに絞った情報項目の検索

地図に情報項目を重ねて表示する

地図に重ねて表示することが出来る情報項目は、情報項目名の右側に「追加」ボタンが表示されます。



表示したい情報項目毎、「追加」ボタンをクリックして地図上に情報項目を重ねて表示します。「追加」ボタンで追加した情報項目は、「凡例と表示設定」パネルに追加されます。また、地図に情報項目が重ねて表示されます。



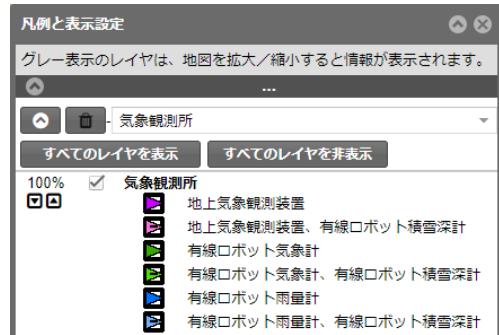
環境アセスメントデータベース

メモ

重ねた情報項目は、表示している地図の縮尺に従って制御されます。「凡例と表示設定」パネルで、グレーになっている情報項目はその縮尺では表示できないことを表しています。



表示出来ない縮尺の場合

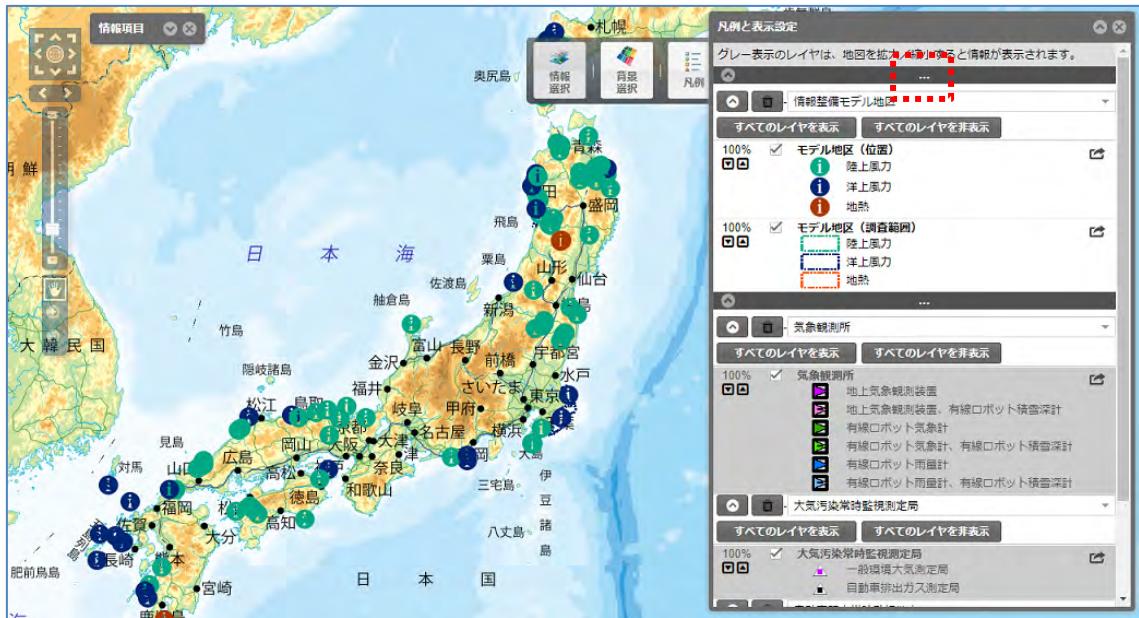


表示出来る縮尺の場合

表示している情報項目の重ね順を変更する

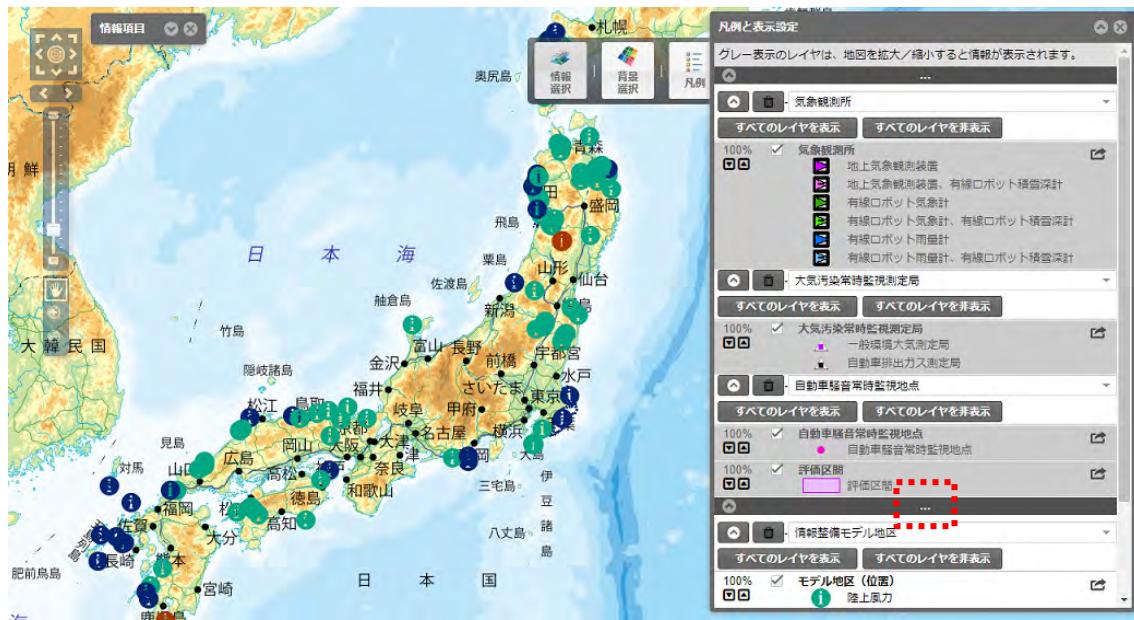
表示している情報項目は、マップの単位でまとめられています。

「凡例と表示設定」パネルには、マップの単位で「帯」があります。（下記赤枠部分）この「帯」の中心にある「…」部分をクリックしたままドラッグすると情報項目の重ね順を変更することができます。



環境アセスメントデータベース

下記は、赤枠部分をドラッグして「自動車騒音常時監視地点」の下に移動した状態です。



メモ

1つのマップの中に情報項目が多い場合や、凡例項目が多い場合は、「帯」を畳むことでドラッグがしやすくなります。

「帯」の左端にある「^」アイコンをクリックすると情報項目パネルが畳まれます。「v」アイコンをクリックすると情報項目パネルが広がります。



環境アセスメントデータベース

マップ内のレイヤについて、個別に重ね順を変更したい場合、「」をクリックし、レイヤを取り出して別のマップに分割します。分割したマップは個別に並び替えることができます。取り出したレイヤを元に戻すには「」をクリックします。



メモ

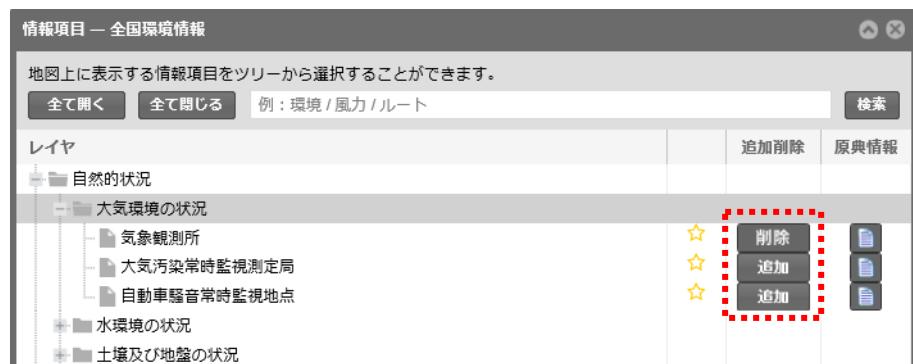
マップの数を多くすると地図の描画速度が遅くなります。マップの表示数は10件程度を目安としてください。

地図に追加した情報項目を削除する

地図に追加した情報項目が必要なくなった場合は、削除することができます。削除は「情報項目」パネル、「凡例と表示設定」パネル、「ブラックマーク」パネルの、いずれかのパネルで行います。

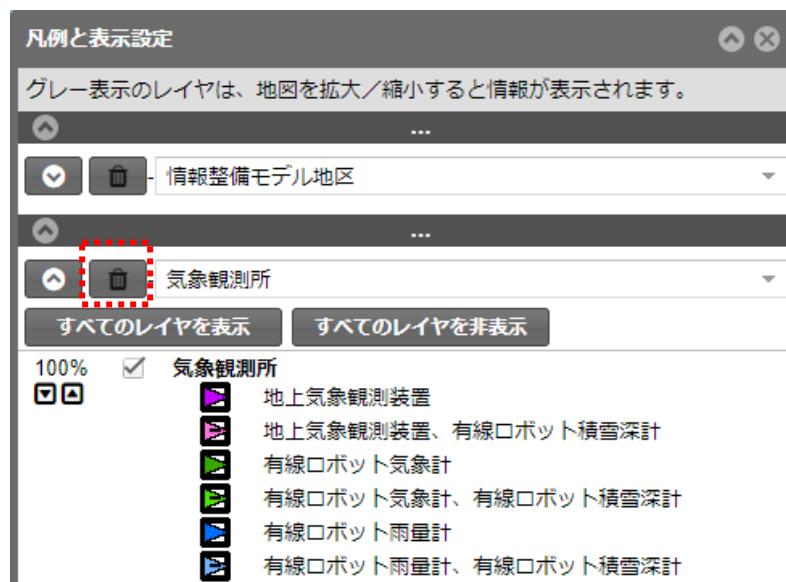
○ 「情報項目」パネルから削除する場合

情報項目名右側の「削除」ボタンをクリックします。



○ 「凡例と表示設定」パネルから削除する場合

削除対象の情報項目にある「ゴミ箱」アイコンをクリックします。



環境アセスメントデータベース

- 「ブックマーク」パネルから削除する場合

削除対象の情報項目にある「削除」ボタンをクリックします。



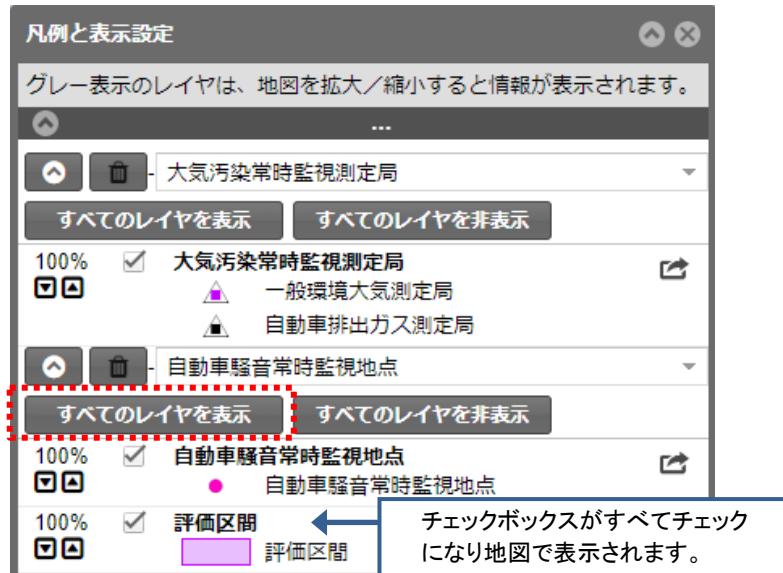
メモ

「ブックマーク」パネルに保存していない情報項目は、「情報項目」パネルもしくは、「凡例と表示設定」パネルのどちらかのパネルで削除します。

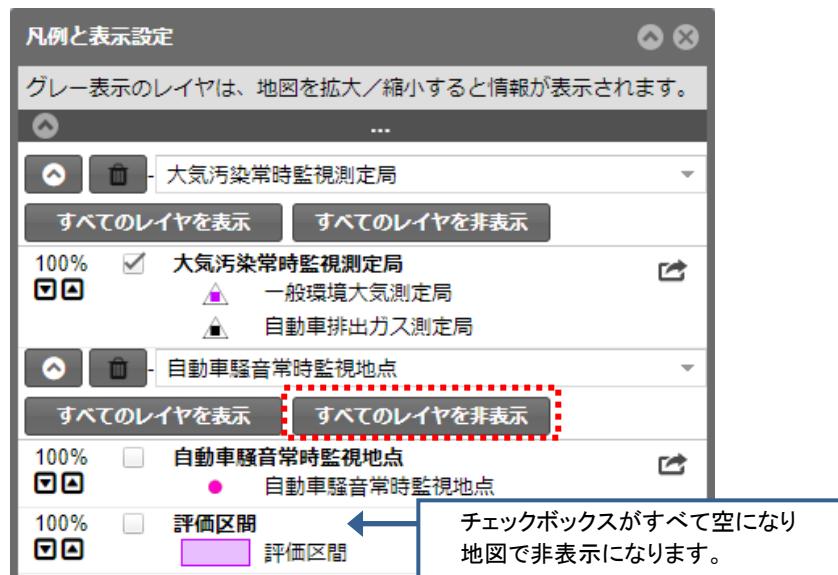
地図に追加した情報項目を非表示にする

「凡例と表示設定」パネルで情報項目毎に、すべての項目の表示と非表示を切り替えることができます。

切り替えをする情報項目名の下にある「すべてのレイヤを表示」ボタン、「すべてのレイヤを非表示」ボタンで切り替えます。



「すべてのレイヤを表示」ボタンをクリックした場合



「すべてのレイヤを非表示」ボタンをクリックした場合

ブックマークを使う

頻繁に利用する情報項目は、ブックマークに保存できます。

保存したブックマークから、情報項目を容易に地図へ追加、削除することができます。

ブックマークに保存するには、情報項目名右側にある「☆」マークをクリックします。



環境アセスメントデータベース

保存したブックマークを表示するには、メニューバーから「情報選択」をクリックし、「情報項目」パネルをクリックします。

「ブックマーク」ボタンをクリックすると、ブックマークした情報項目の一覧が表示されます。



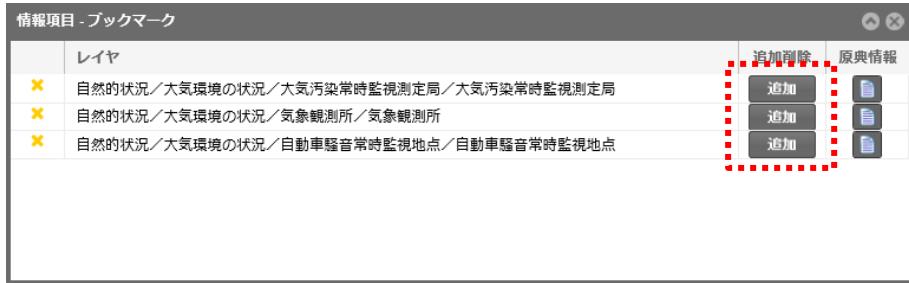
ブックマークに保存されている情報項目をブックマークから削除するには、「X」ボタンをクリックします。

(地図から削除されるのではありません。ブックマークから削除されます)



ブックマークから情報項目を追加削除する

ブックマークに保存されている情報項目を地図に追加するには、「追加」ボタンをクリックします。追加済みの情報項目は、「追加」ボタンが「削除」ボタンに変わります。この「削除」ボタンをクリックすると、地図から削除されます。



情報項目を地図に追加する場合



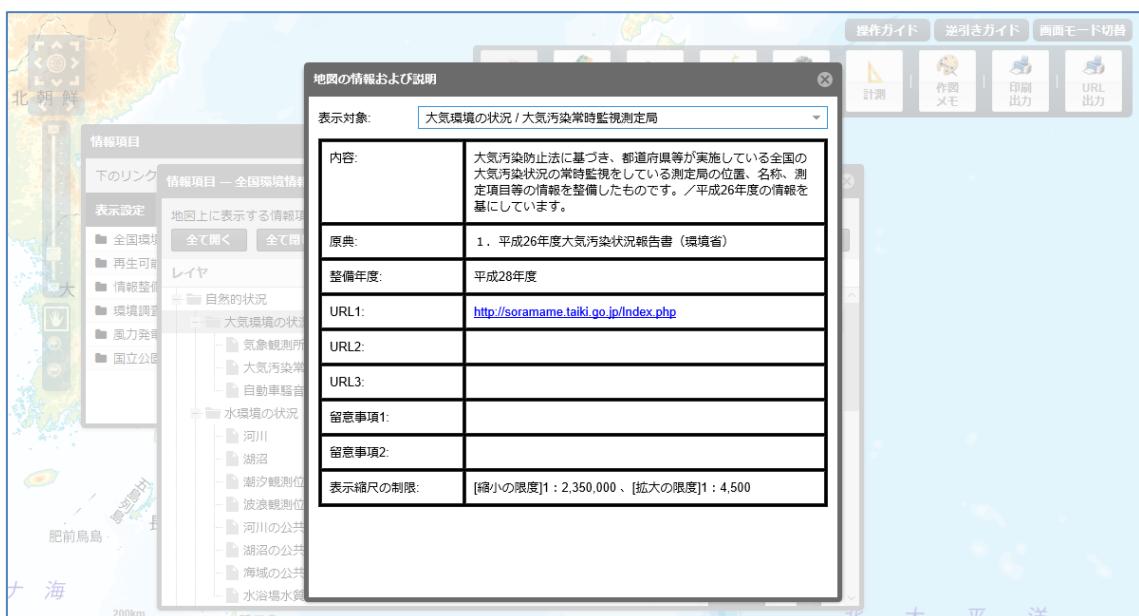
情報項目を地図から削除する場合

表示する情報項目の原典を調べる

地図に重ねて表示することが出来る情報項目のうち、情報名の右側に「原典情報」ボタンが表示されている情報項目があります。



調べたい情報項目の「原典情報」ボタンをクリックすると、「原典情報」パネルが表示されます。



「原典情報」パネルは、右上の×ボタンで閉じます。

パネルの表示状態を変える

「情報項目」パネルや「凡例と表示設定」パネルは、システムの利用時から表示状態になっています。地図が見えにくい場合は、パネルを非表示にするか小さく畳む事で、地図が見えやすくなります。

小さく畳むには、パネルの上部にある「^」アイコンをクリックします。

もう一度クリックすると元のサイズに戻ります。



環境アセスメントデータベース

メモ

小さく畳んだパネルは、地図画面端に移動すると地図が見やすくなります。パネルを非表示にする場合は、パネルの「閉じる」アイコンをクリックします。



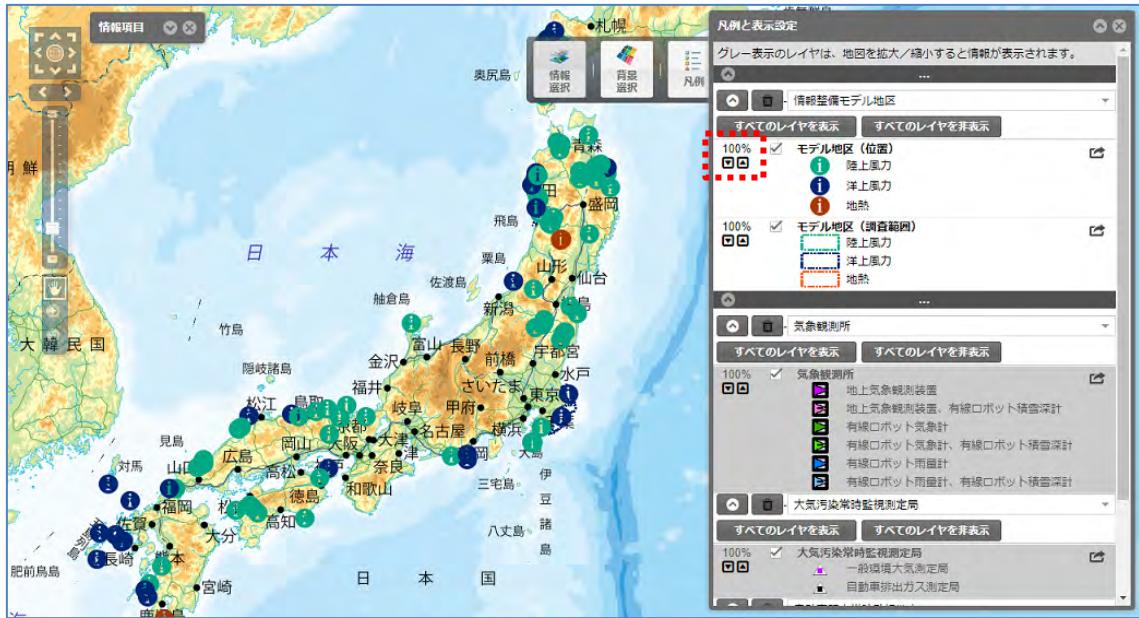
メニューアイコンをクリックすることでも、パネルを非表示にできます。



非表示にしたパネルは、メニューアイコンをクリックすると再度地図上に表示されます。

透過率を変更する

追加した情報項目毎に、地図上の表示の透過率を変更することができます。「凡例と表示設定」パネルで追加した情報の左にある「▼」「▲」アイコンをクリックすると、10%刻みで透過率が変更され、地図上の表示が変更されます。



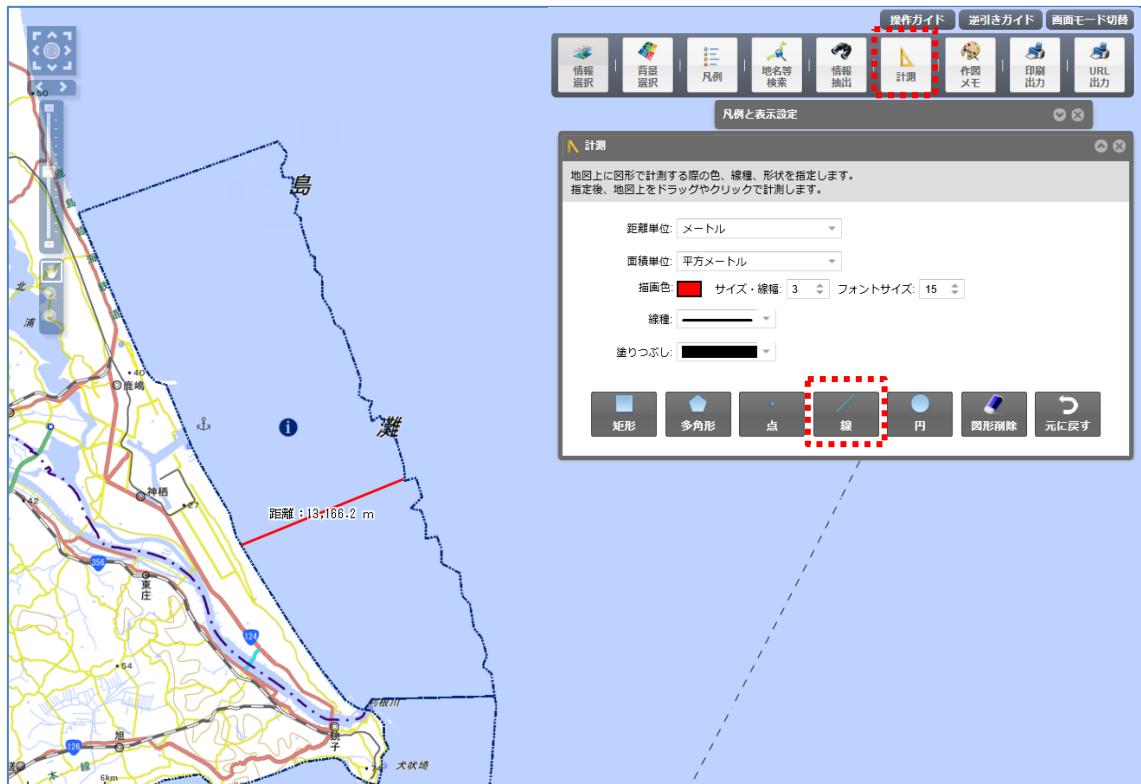
メモ

設定した透過率は、印刷にも反映されます。

地図上の情報量が多く、見えにくい場合は透過率の変更や、表示・非表示を設定して、見やすくなるように調整してください。

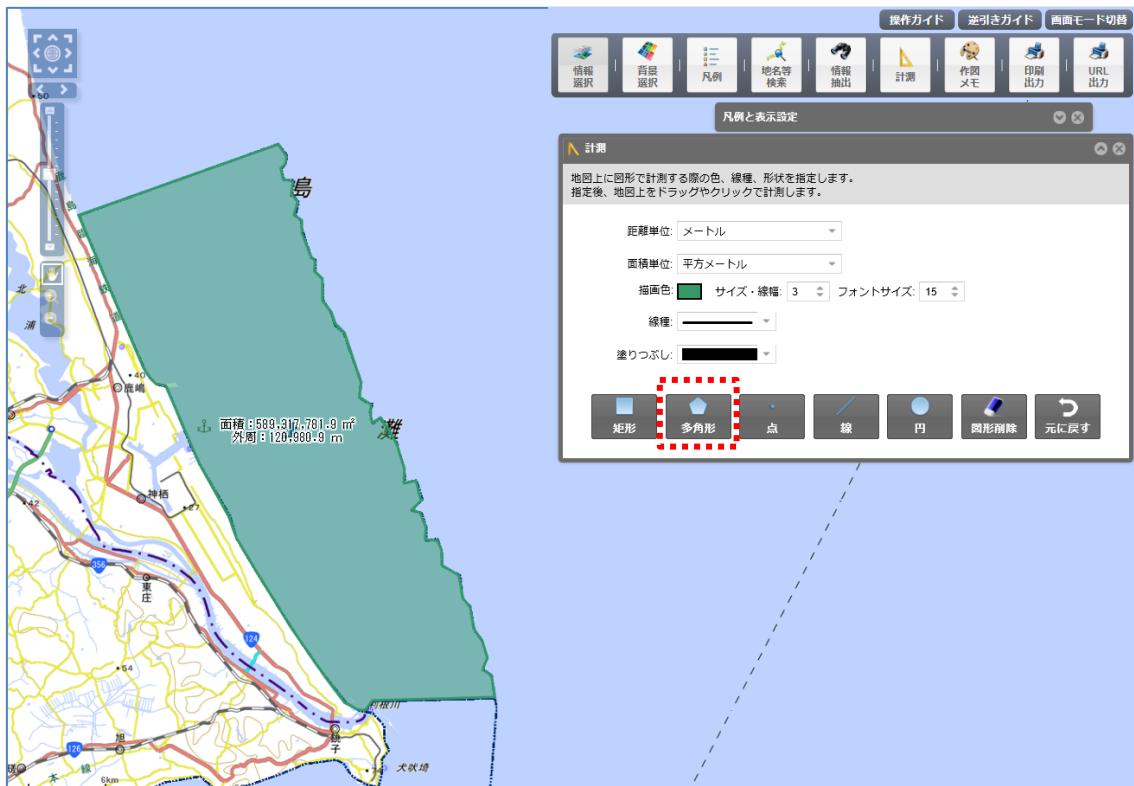
計測をする

メニューバーの「計測」をクリックすると、「計測」パネルが表示されます。距離計測をする場合は、距離単位を指定して、「線」アイコンをクリックします。



環境アセスメントデータベース

面積計測をする場合は、面積単位を指定して、「長方形」「円」「多角形」アイコンのいずれかをクリックします。



メモ

距離計測、面積計測何度も指定ができます。
指定をやり直す場合、「図形削除」ボタンで全て削除するか、「元に戻す」ボタンにより図形単位で操作を戻します (Undo)

メモを作成する

地図画面上に、メモや図形を記入することができます。

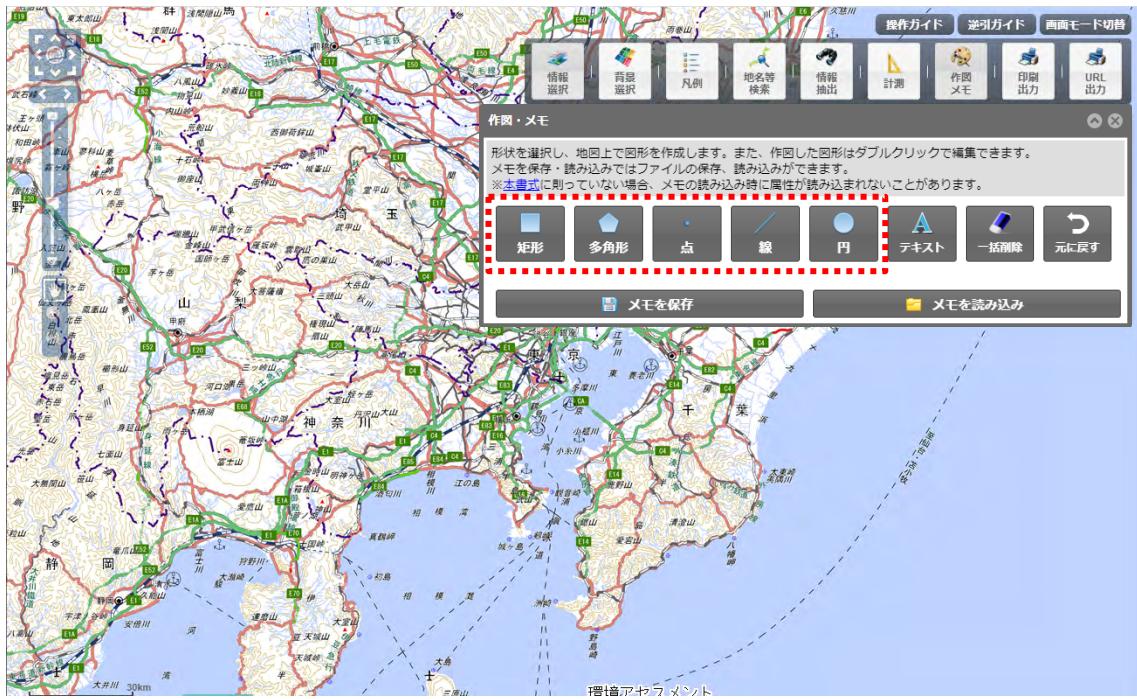
メモや図形はブラウザを閉じると消えてしまいますが、利用している PC に保存し、次回利用時に保存した情報を読み込めます。また、他の人に渡して読み込んでいただくこともできます。

メニューバーの「作図メモ」をクリックすると、「作図・メモ」パネルが表示されます。

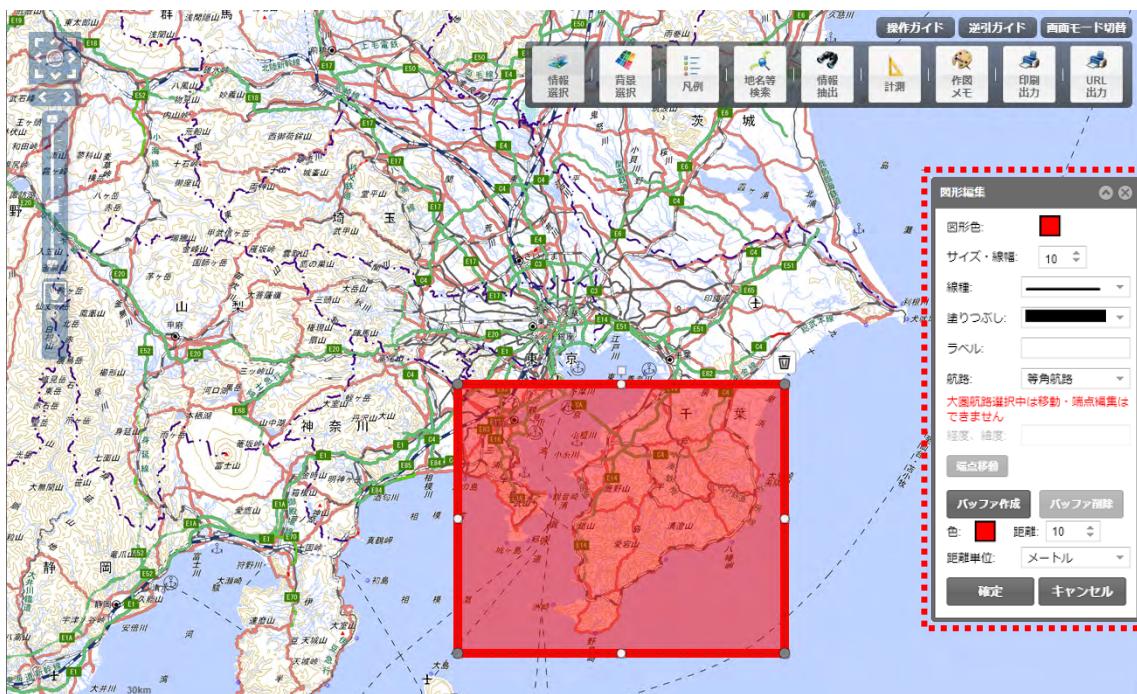


環境アセスメントデータベース

図形メモを記入する場合は、図形アイコンをクリックし、「図形編集」パネルを表示します。



「図形編集」パネルより、図形のスタイルを設定し、地図上で作図します。



環境アセスメントデータベース

テキストメモを記入する場合は、テキストアイコンをクリックし、「テキスト編集」パネルを表示します。



「テキスト編集」パネルより、テキストの文言・スタイルを設定し、地図上にメモを記入します。



環境アセスメントデータベース

メモ

記入した図形メモ、テキストメモは、「メモを保存」ボタンをクリックすると、メモデータのダウンロードができます。

ダウンロードしたデータは、「メモを読み込み」ボタンから読み込んで再描画できます。



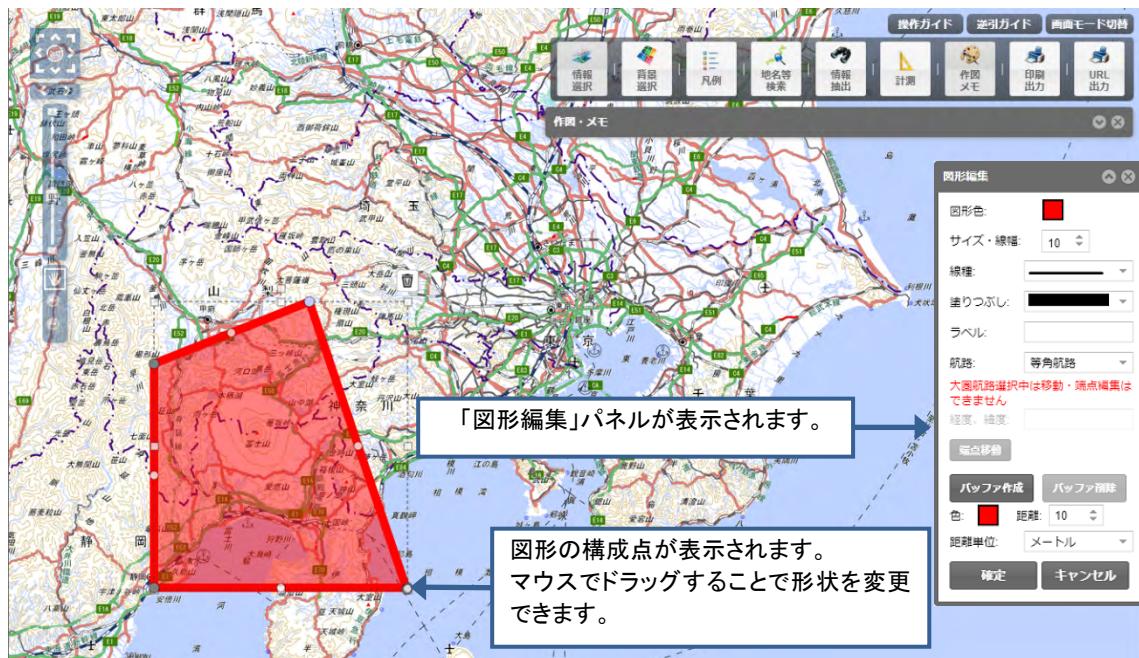
「KML ファイル」「GeoJSON ファイル」で保存したメモは「図形編集」パネルの航路の設定状態にかかわらず、必ず等角航路の図形として保存されます。メモを読み込んだ後に大圏航路に変更することは可能です。なお、大圏航路選択中は図形の移動・端点編集が不可となります。

「作図・メモ」パネルの説明文のリンクより、読み込み可能な KML ファイルの書式を確認することができます。本書式に記載されていない項目は読み込みの対象外となります。

KML書式	解説
<?xml version="1.0" encoding="utf-8"?>	XML ヘッダー。KML ファイルの 1 行目に記述する宣言文です。
<kml xmlns="http://www.opengis.net/kml/2.2">	KML 名前空間宣言。KML 2.2 であることを示します。ファイルの 2 行目に記述する宣言文です。
<Document>	KML ドキュメント。他のデータをまとめて扱うブロックです。
<Placemark>	1つの図形情報（ポイント、ポリゴン、ラインのいずれか 1つ）を定義するブロックです。
<ExtendedData>	拡張データを扱うブロックです。
<Data name="_color">	色を定義するブロックです。
<value>#ff0000</value>	ポイントの色を指定します。
</Data>	
<Data name="opacity">	透過度を定義するブロックです。値は 0 または 1 で、0 の場合は完全透過、1 の場合は完全不透明になります。
<value>1</value>	1: 不透過、0: 透過、0.1 間隔で透過度を表します。

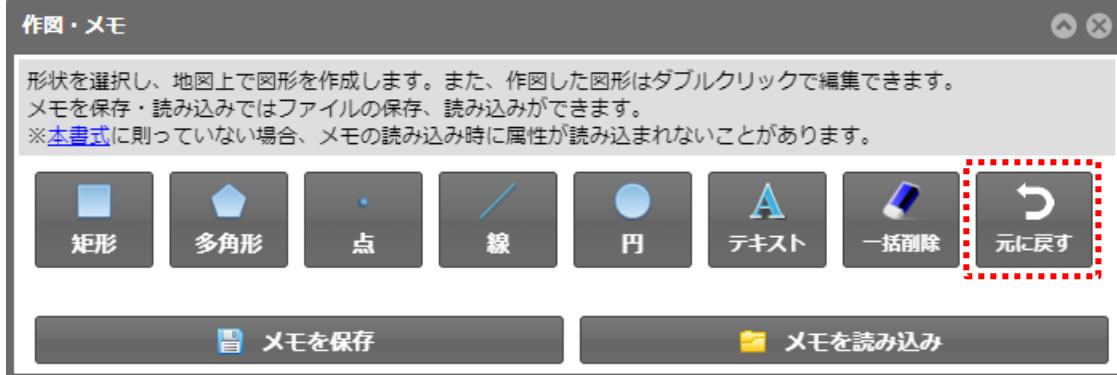
メモを編集する

地図画面上に作成したメモや図形は、ダブルクリックで選択、再編集することができます。



メモ

「元に戻す」ボタンをクリックすると、一度確定した図形を確定前の状態に戻すことができます。(ただし、図形から作成したバッファは「元に戻す」機能の対象外のため、元に戻すことはできません。)



バッファを作成する／削除する

地図画面上に作成したメモや図形にバッファを作成することができます。

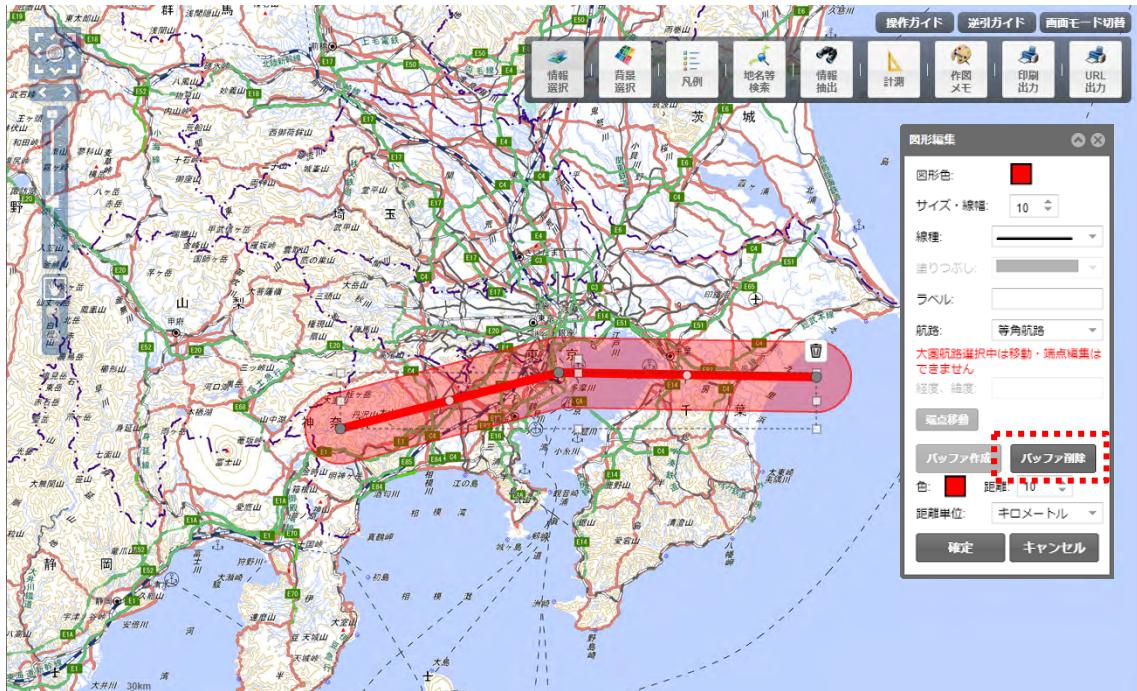
バッファを作成したいメモを地図画面上でダブルクリックして選択状態（編集状態）にして、色、距離、距離単位を設定します。

「バッファ作成」ボタンをクリックすると、図形に指定した形状の外縁から所定の範囲がバッファとして作成されます。



環境アセスメントデータベース

バッファを削除したい場合は、メモを選択状態（編集状態）にして「バッファ削除」ボタンをクリックします。



メモ

等角航路で作成した図形からバッファを作成する場合、図形からの距離は図形の上端と下端の中間の緯度を基準として作成されます。(図形の上端が北緯 45 度、下端が北緯 35 度の場合、図形からの距離は中間の北緯 40 度を基準として作成されます。)

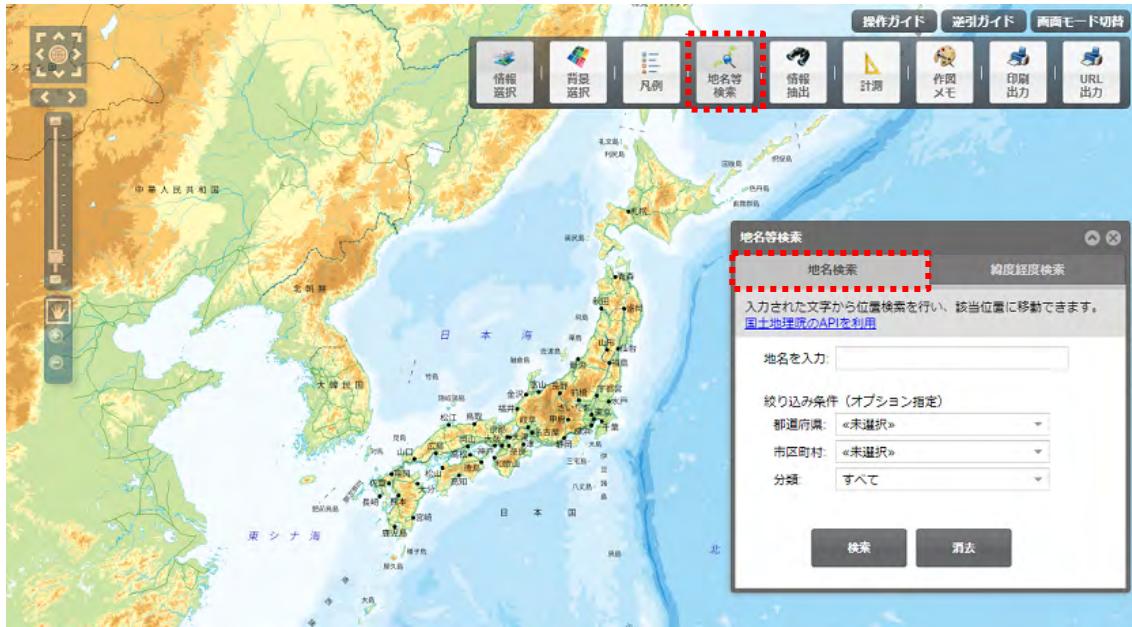
Web メルカトル図法では高緯度ほど地図が引き伸ばされるため、中間の緯度から離れた位置では入力した距離と作成したバッファに誤差が発生します。

広域の地図上で作図する場合や、図形からの距離に誤差が生じないような正確なバッファを作成したい場合は、大圏航路に設定して図形やバッファを作成してください。

地名等を検索する

メニューバーの「地名検索等」をクリックすると、「地名等検索」パネルが表示されます。

「地名検索」タブをクリックします。



「地名を入力」テキストボックスに検索したい地名や、駅、施設名を入力して、「検索」ボタンをクリックします。地名検索では、文字列の一部でもあいまい検索できます。

検索結果よりアイコンをクリックすると、検索で見つかった場所を中心に地図が表示されます。



メモ

絞り込み条件オプションを使うと、検索範囲を「都道府県」や「市区町村」で限定することや分類（地名、地名以外）による絞り込みをすることができます。



地名検索には国土地理院の API を利用しています。国土地理院の API が利用不可の場合、「地名の検索サービスにアクセスできません。」のメッセージが表示され、検索を実行しても「検索結果が 0 件でした。」と表示されます。



緯度経度を指定して地図を表示する

緯度経度を指定して地図を表示する場合は、「地名等検索」パネルの「緯度経度検索」タブをクリックします。



「緯度経度検索」パネルの「緯度」「経度」テキストボックスに検索したい値を入力して、「検索」ボタンをクリックします。

検索で見つかった場所を中心に地図が表示されます。

メモ

「検索」ボタンをクリックする前に、「中心十字線」にチェックを入れると、見つかった場所を中心十字線で表示することができます。

情報を表示する ポップアップ

地図に追加した情報項目は、地図上に表示されている図形をクリックすると、その図形の情報が表示されます。

この操作は、メニューバーで指定する必要はありません。



メモ

クリックした地点で検索された図形の件数がポップアップのタイトルに表示されます。

図形が重なっている場合は、「送る」ボタンで重なっている図形の情報を見ることができます。



環境アセスメントデータベース

また、「一覧表示」ボタンで図形の情報を一覧表示に切り替わります。

一覧表示に切り替えた後、「個別表示」ボタンをクリックすることにより、図形の情報を個別表示に切り替わります。

The diagram illustrates the transition between two views of environmental assessment data. At the top, a screenshot of a detailed view window titled "データ情報:検索件数 5件" shows specific information for a single monitoring station (ID 525, located in Tokyo). A red dashed box highlights the "一覧表示" (List View) button. Below this, a large blue double-headed arrow indicates the switch. At the bottom, a screenshot of a list view window titled "データ情報:検索件数 5件" shows a table with two rows of data. A red dashed box highlights the "個別表示" (Detailed View) button, which is located next to the "CSV出力" (CSV Output) button. The table data is as follows:

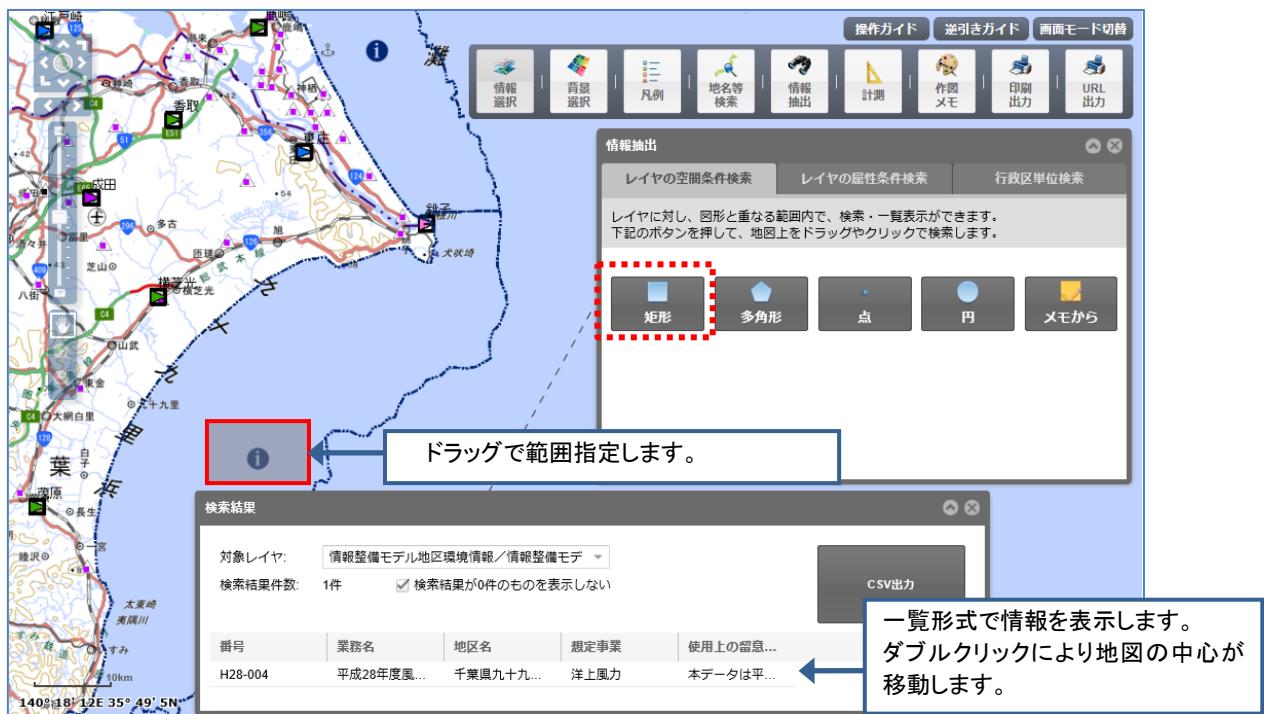
ID	都府県・振興局	観測所番号	観測所種類	観測所名	観測所名（カ…）
525	東京	44132	気象台	東京	トウキョウ
526	東京	44132	地域気象観測所	東京	トウキョウ

情報を表示する 空間条件検索

地図に追加した情報項目は、地図上に表示されている図形を範囲指定すると、その図形の情報が表示されます。メニューバーの「情報抽出」をクリックすると、「情報抽出」パネルが表示されます。

範囲指定する形状「矩形」「多角形」「点」「円」「メモから」を指定（クリック）し、地図上をドラッグして範囲指定します。

範囲指定に含まれる（交差している場合も該当します）、情報が一覧形式で表示されます。



メモ

範囲指定の図形が多くの情報を囲む形になると、検索に時間がかかります。なるべく、範囲を絞って指定してください。

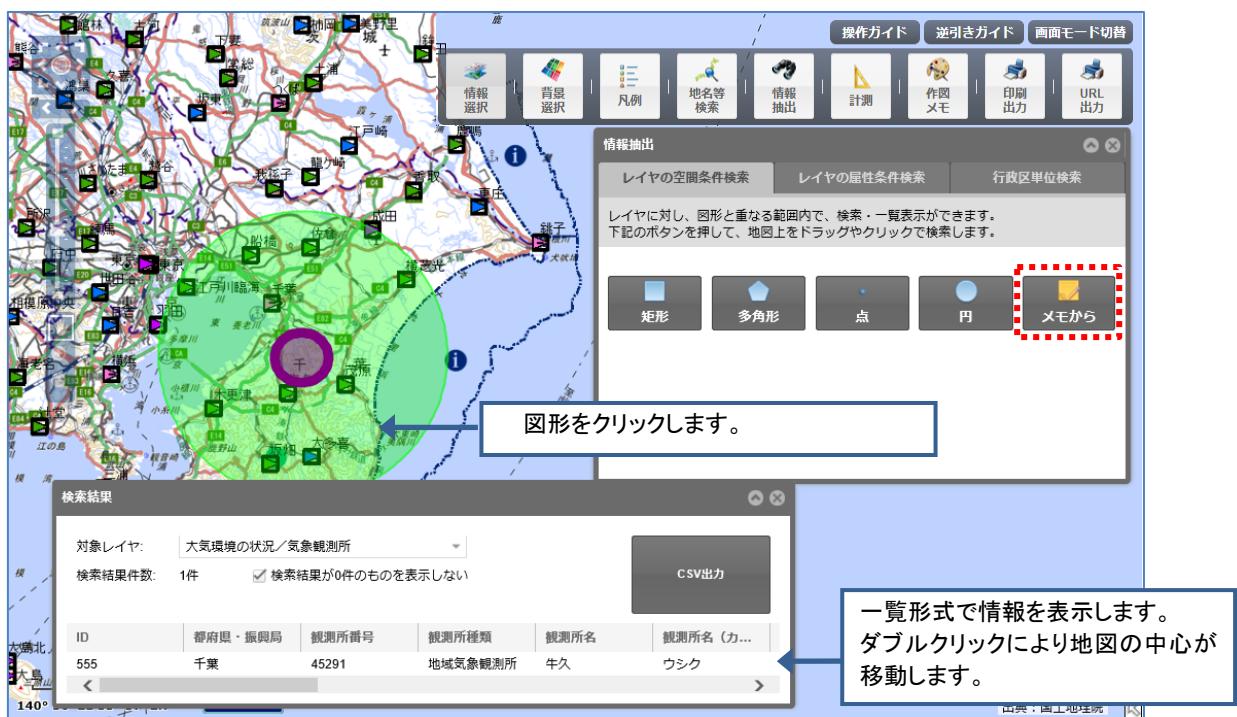
情報を表示する 空間条件検索（バッファ検索）

空間条件検索では、「作図・メモ」で作成したバッファを使って、検索することができます。

メニューバーの「情報抽出」をクリックすると、「情報抽出」パネルが表示されます

「レイヤの空間条件検索」タブをクリックし、「メモから」ボタンをクリックします。検索対象となる地図上のメモもしくはバッファをクリックします。

バッファに含まれる情報が一覧形式で表示されます。（バッファに交差している情報も該当します）



環境アセスメントデータベース

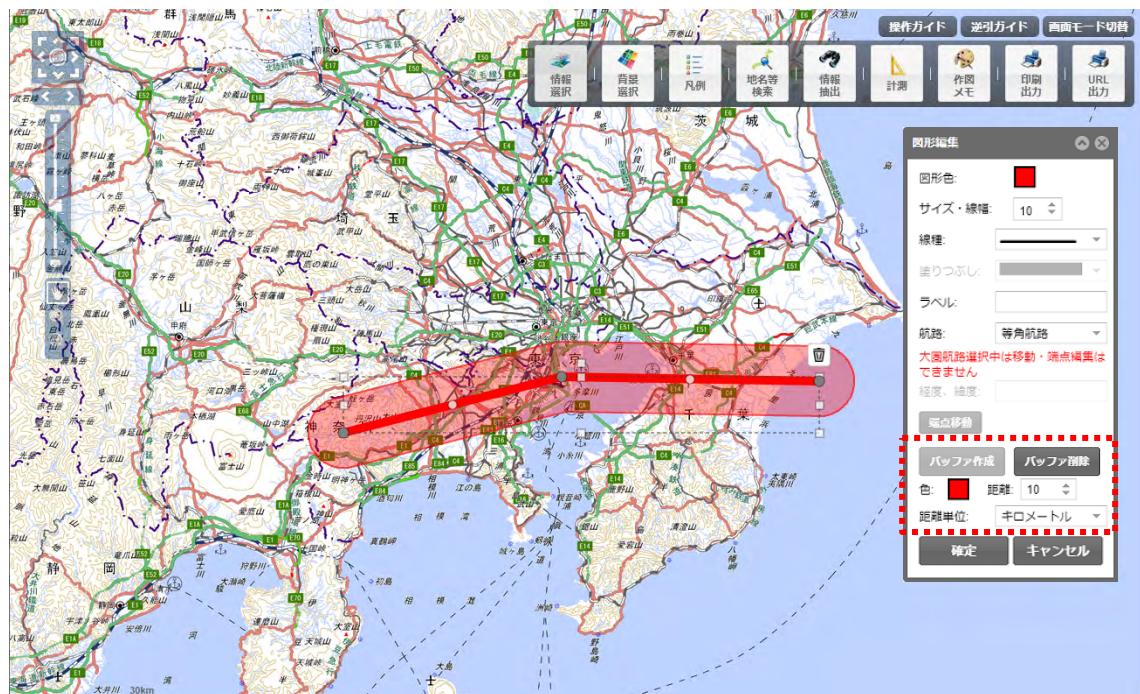
対象となるメモを読み込んでからバッファ検索する場合は、バッファを再作成する必要があります。

メニューバーの「作図メモ」をクリックすると、「作図・メモ」パネルが表示されます。

「メモを読み込み」ボタンをクリックし、メモを読み込みます。

「バッファを作成する／削除する」ページに従い、バッファを作成します。

バッファが作成できたら、「情報抽出」で「メモから」検索をします。

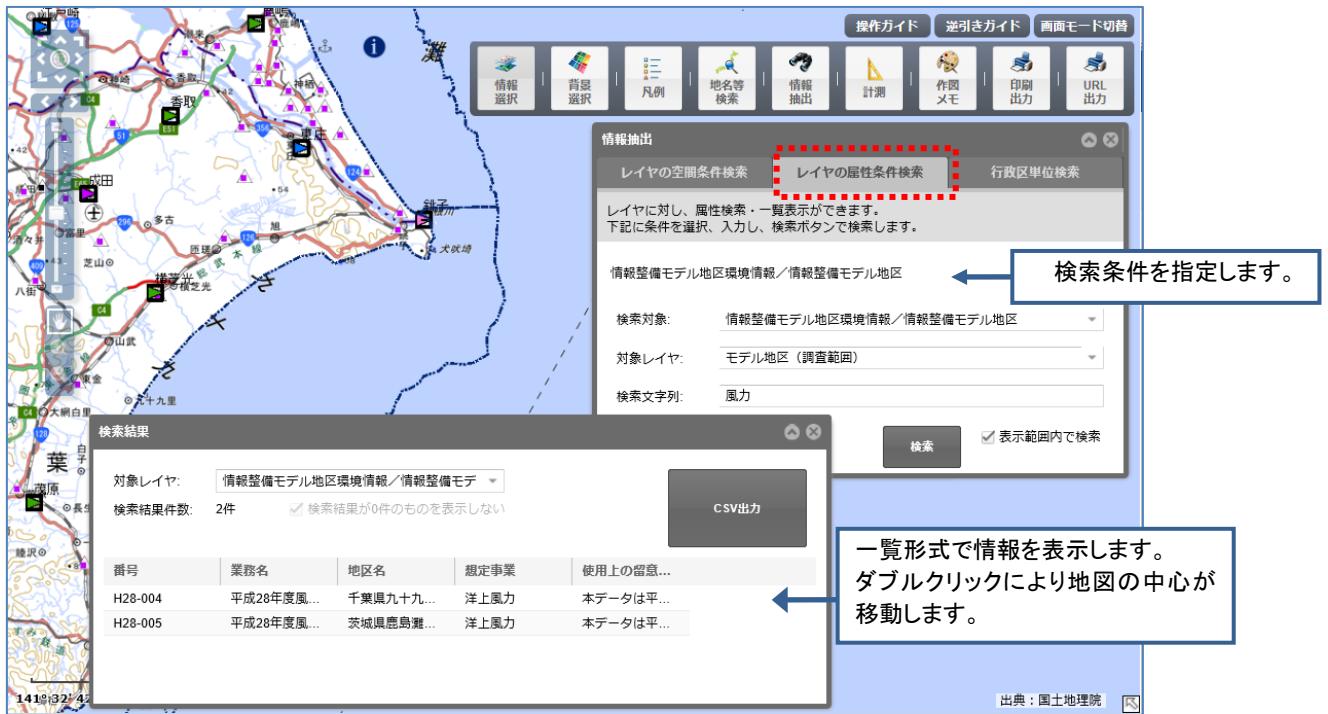


情報を表示する 条件検索

地図に追加した情報項目は、図形情報を入力したキーワードで検索し、条件に合致する図形の情報を表示します。メニューバーの「情報抽出」をクリックすると、「情報抽出」パネルが表示されます。

「レイヤの属性条件検索」タブをクリックします。

検索条件となる、「検索対象」「対象レイヤ」「検索文字列」をすべて指定します。検索条件に合致する情報が一覧形式で表示されます。



メモ

「表示範囲内で検索」を有効にすると、検索対象を画面上に限定できるため、検索を早く実行することができます。

情報を表示する 行政区単位検索

地図に追加した情報項目は、図形情報を行政区単位で検索し、条件に合致する図形の情報を表示します。メニューバーの「情報抽出」をクリックすると、「情報抽出」パネルが表示されます。

「行政区単位検索」タブをクリックします。

検索条件となる、「都道府県」「市区町村」を指定します。検索条件に合致する情報が一覧形式で表示されます。

操作ガイド 逆引きガイド 画面モード切替

情報選択 背景選択 凡例 地名等検索 情報抽出 計測 作図メモ 印刷出力 URL出力

情報抽出

レイヤの空間条件検索 レイヤの属性条件検索 行政区単位検索

行政区の単位で検索・一覧表示ができます。（洋上は対象外です）
下記に条件を選択、検索ボタンで検索します。

都道府県: 千葉県
市区町村: 館山市

検索条件を指定します。

検索結果

対象レイヤ: 情報整備モデル地区環境情報／情報整備モ...
検索結果件数: 3件 検索結果が0件のものを表示しない

CSV出力

番号	業務名	地区名	観定事業	使用上の留意...
H25-006	平成25年度風...	千葉県館山市...	陸上風力	本データは平...
H25-006	平成25年度風...	千葉県館山市...	陸上風力	本データは平...
H25-006	平成25年度風...	千葉県館山市...	陸上風力	本データは平...

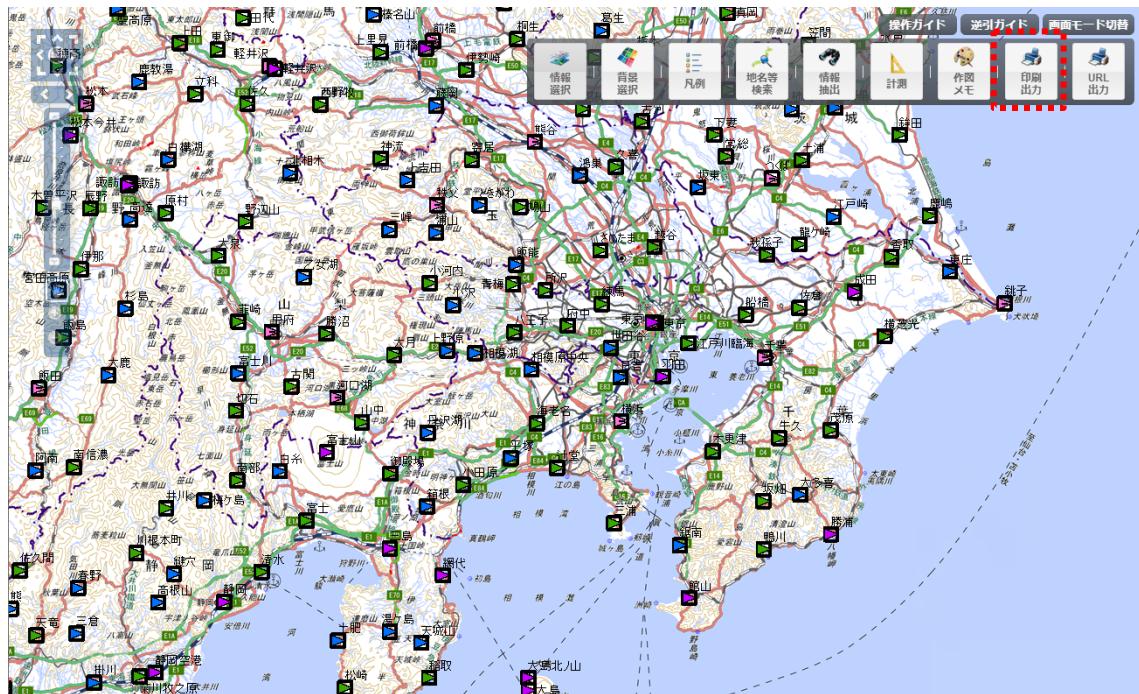
一覧形式で情報を表示します。
ダブルクリックにより地図の中心が移動します。

出典: 国土地理院

環境アセスメントデータベース

印刷をする

メニューバーの「印刷出力」をクリックすると、印刷画面が表示されます。



印刷設定を指定します

地図を移動して印刷範囲を指定します

用紙サイズ: A4縦 出力形式: PNG 余白設定: 標準

印刷タイトルを入力: []

四隅 スケール 方位記号

中心座標 緯度: 例: 35.652 / 35度39分8秒 経度: 例: 139.690 / 139度41分24秒 適用

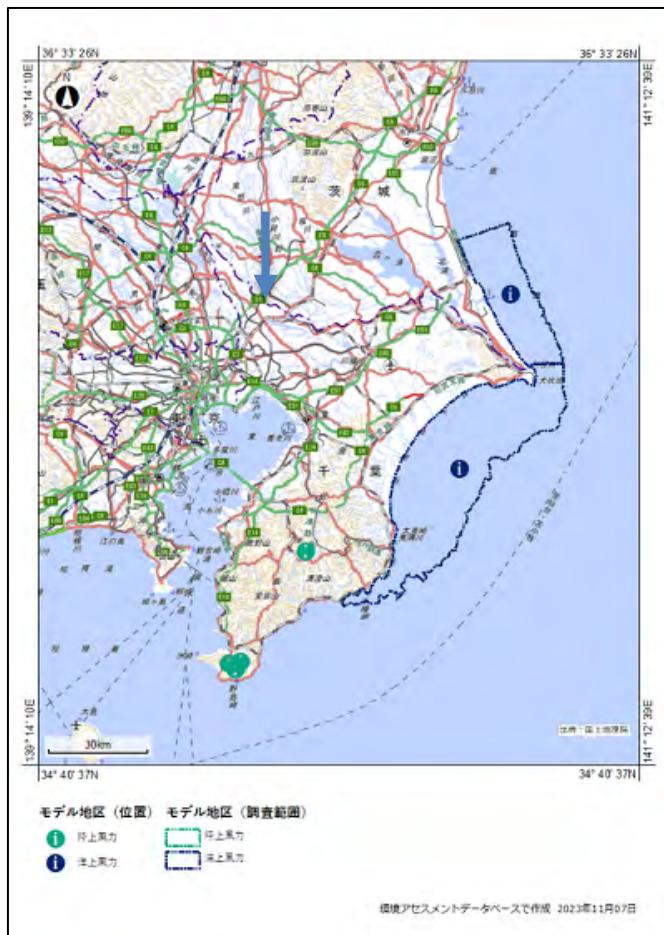
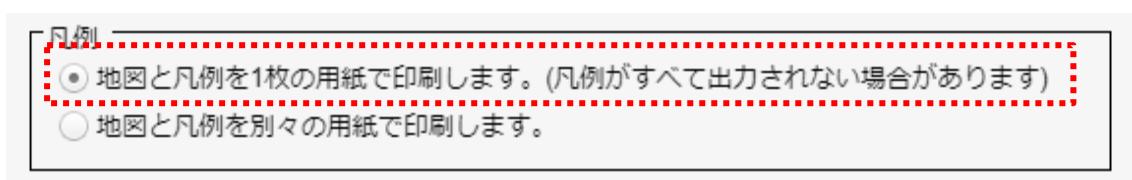
印刷設定を保存 印刷設定読み込み 印刷 元の画面戻る

A screenshot of the 'Print Settings' dialog box and the map below it. The dialog box contains fields for paper size (A4 vertical), output format (PNG), margin settings (Standard), title input, and checkboxes for corners, scale, and orientation symbols. It also includes a center coordinate field with latitude and longitude examples and an 'Apply' button. Below the dialog box is a map of the area around Mount Fuji, with various locations labeled. A blue arrow points from the 'Print Settings' dialog box to the map area, indicating where to move the map to define the print range.

地図と凡例を1枚の用紙で印刷する場合

印刷画面には、地図と凡例の出力方法の指定があります。

地図と凡例を1枚の用紙で印刷する設定が初期値となっています。



印刷イメージ

地図に多くの情報項目を追加し、凡例の分類が多い場合は、1枚の用紙に入りきらない場合があります。凡例を全て印刷したい場合は、次の「地図と凡例を別々の用紙で印刷します」を参照してください。

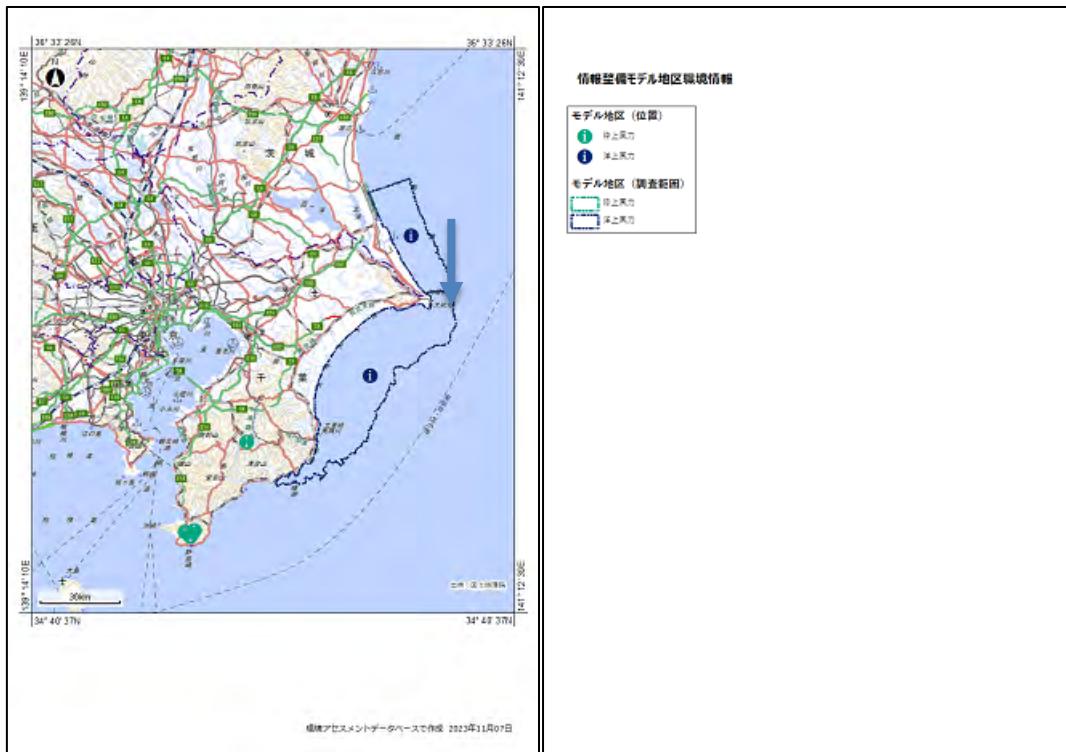
地図と凡例を別々の用紙で印刷する場合

印刷画面で、地図と凡例を別々の用紙で印刷する設定を選択すると、地図と凡例が別の用紙で印刷されます。

凡例は、地図に追加した情報項目の 1 階層上で纏められ、その単位でページングされます。

凡例

- 地図と凡例を1枚の用紙で印刷します。(凡例がすべて出力されない場合があります)
- 地図と凡例を別々の用紙で印刷します。

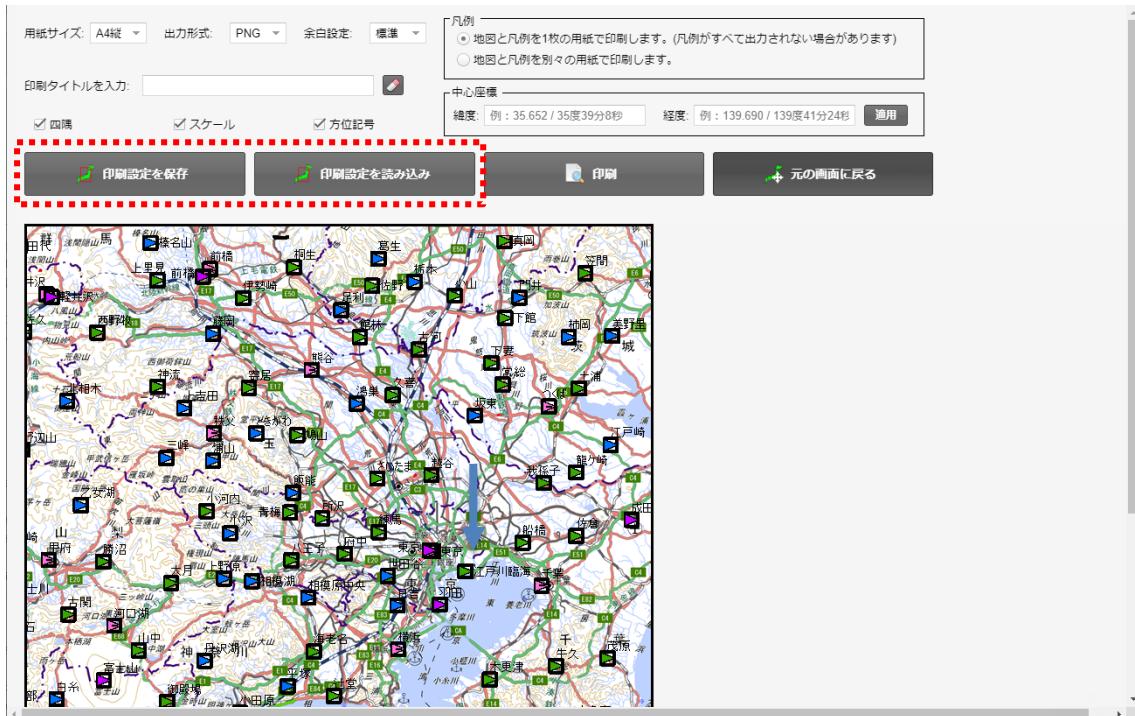


環境アセスメントデータベース

印刷設定の保存・読み込みをする場合

印刷画面で「印刷設定を保存」ボタンをクリックすると指定中の印刷設定がファイル (.json) でダウンロードされます。

印刷画面で「印刷設定を読み込み」ボタンをクリックし、印刷設定ファイル (.json) を読み込むと、保存した印刷設定が再現されます。



メモ

印刷設定保存時に閲覧していた情報項目の表示状態は再現されません。

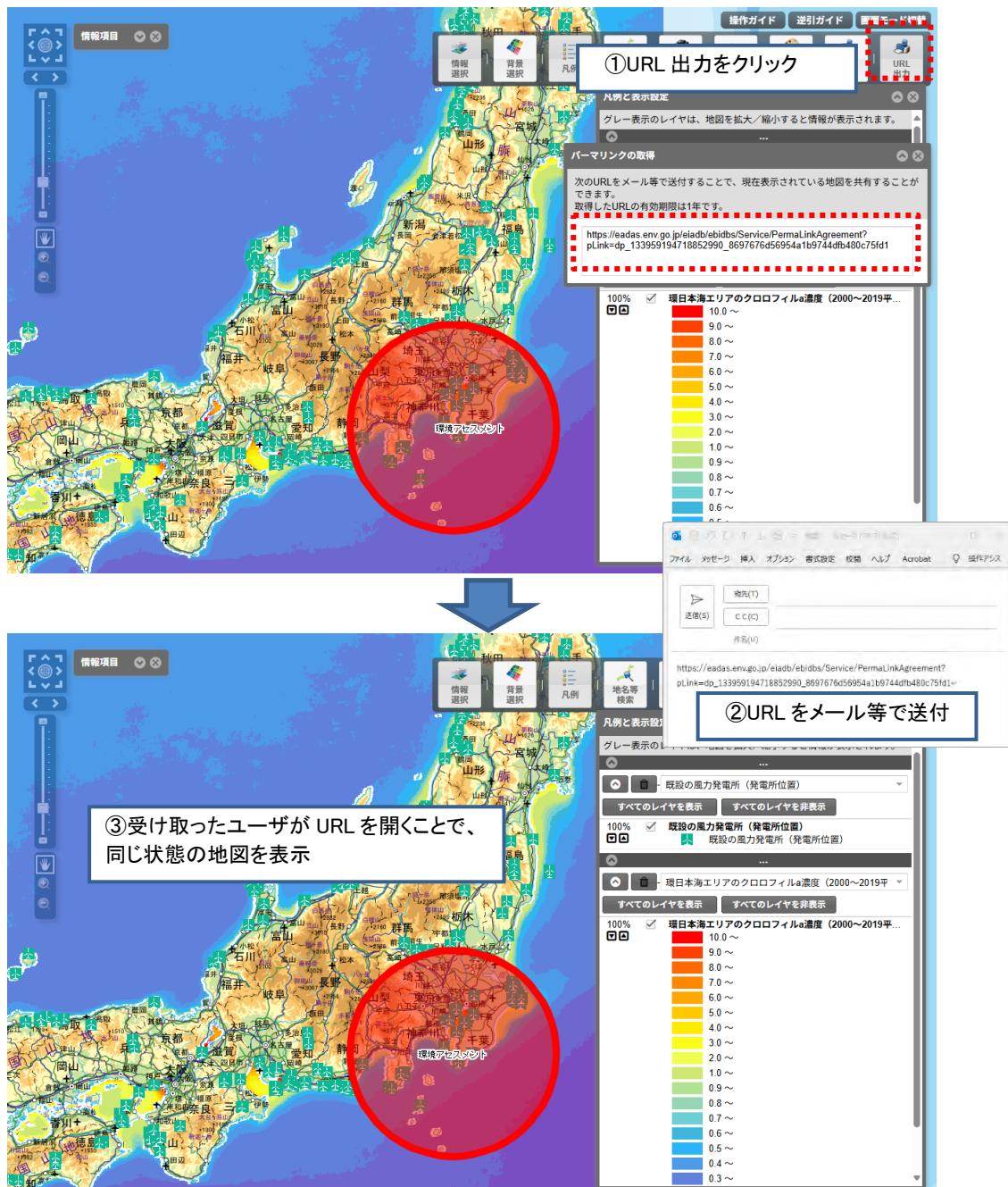
再現されるのは印刷画面で指定した設定と地図の印刷範囲です。

URL で地図を共有する

メニューバーの「URL 出力」をクリックすると、「パーマリンクの取得」パネルに URL が表示されます。

表示された URL をメール等で共有したいユーザに送付し、受け取ったユーザが URL を開くことで、現在表示中の地図と同じ状態の地図を表示させることができます。

URL の有効期限は 1 年間です。



メモ

「URL 出力」機能により共有される地図は、表示対象の情報が更新された場合、更新後の情報で表示されます。そのため、必ずしも URL 出力実行時と同一の結果とはならない場合があります。

地図画面を長期的に保存する場合は「印刷出力」機能をご利用ください。

また、「URL 出力」により共有できる情報は以下の通りです。

- ・地図の表示位置と拡縮
- ・マップ及びレイヤの表示状態（重ね順、透過率を含む）
- ・計測の図形
- ・作図メモ
- ・図形クリック時のポップアップ表示

卷末資料

システムが起動しない。画面構成が崩れる。

ご利用のブラウザが、本システムの利用環境に合わない場合(バージョンが古い等)、システムが正しく稼動しないことがあります。システムの利用環境をご確認のうえ、再度アクセスしてください。

地図の表示が遅い。

地図画像等、比較的大容量のデータを読み込みますので、回線の状況によっては表示などに時間を要する場合があります。快適にお使いいただくために、ブロードバンド環境でのご利用を推奨しております。

地図の表示部が白くなる。表示がおかしい部分がある。

ブラウザの表示サイズを変更した場合、地図の読み込みが追随できないことがあります。このようなときは、地図の移動や縮尺の変更などの操作をやりなおすと、正しく表示される場合があります。

ブラウザのキャッシュファイル(インターネット一時ファイル)に異常があると、システムが正しく稼動しないことがあります。このようなときは、ブラウザのキャッシュファイルを削除すると、正常に動作する場合があります。

(ブラウザのキャッシュファイルの削除方法については、各ブラウザのヘルプ、ホームページ等をご確認ください)

機能を検索したい。使用方法が不明な機能がある。

トップページにあります「地理情報システム(GIS)」の「操作ガイド」をご確認ください。

Q&A（よくある質問）

WEB アンケート等を通じて本システムに寄せられたよくある質問をトップページのリンクにまとめて掲載していますのでご確認ください。

Q&A ページ URL

<https://eadas.env.go.jp/eiadb/ebidbs/Service/QA>

トップページ

このサイトについて データベースを見る

データベースを見るためには、各情報の「～を見る」をクリックしてください。また、その際に表示される利用規約を確認してからご利用ください。

地理情報システム (GIS)

次の情報を地図上に重ねて閲覧できます。

- 全国環境情報
- 情報整備モデル地区環境情報
- 環境調査前倒方法実証事業情報
- 再生可能エネルギー情報
- 風力発電における鳥類のセンシティビティマップ
- 国立公園の自然環境インベントリ整備情報
- 全国CO₂排出推計量マッシュマップ
- 生態系を活用した防災・減災 (Eco-DRR) の基礎情報

地図を見る »

詳細を見る »

操作ガイド [9.9MB]

逆引きガイド [11MB]

追加機能紹介

情報整備モデル地区環境情報報告書

情報整備モデル地区環境情報の報告書を閲覧、ダウンロードできます。

報告書を見る »

詳細を見る »

国立公園の自然環境インベントリ整備情報

国立公園の自然環境インベントリ整備情報で収集・整理された文献情報リストを閲覧、ダウンロード (CSV形式) できます。

情報を見る »

参考文献

風力発電に関する以下の情報を検索・閲覧できます。

- 鳥類・コウモリへの影響に関する文献資料情報
- 騒音・低周波音に関する文献資料情報
- 風力発電等に関する指針・ガイドライン情報
- 風車諸元（規模、仕様等）の情報

文献を見る »

詳細を見る »

Q&A

WEBアンケート等を通じて本システムに寄せられたよくある質問をまとめて掲載しています。

Q&Aを見る »

環境アセスメントデータベース

環境アセスメントデータベース EADAS
操作ガイド 第13版

令和7年6月

環境省
大臣官房 環境影響評価課